京城日報

七月五日夕刊（朝夕併せて八頁）

○共和國建設援助
チエツク、スラヴアツク勞働會

紐育に於けるチエツク、スラヴアツク勞働者委員會は世界の各國に對し精神的に經濟的にチエツク、スラヴアツク共和國建設運動を援助せん事を訴へたり尙同委員會は曰くチエツク族は墺太利に六百萬人あり又匈牙利にはチエツク族及びスラヴ族二百萬人あり（紐育電報）

○米國務卿聲明

國務卿ランシング氏は曰く今やスラブ種に屬する各民族をして獨墺國の治下より脱せしむるは政府の執るべき態度なりと解釋すと（華盛頓電報）

○在桑港露人同盟

桑港在留露國人は自由露國防禦同盟を組織したるが彼等はブレストリトウスク條約を拒絶し露國と聯合國との確實なる同盟維持を主張せり（桑港電報）

○獨墺俘虜軍南下

トムスクに在りし獨墺俘虜軍及び赤衛軍は其後セミパラチンスク迄南下し來り省境を侵さん氣勢あり伊犁鎭守使より應援方依頼ありとの旨伊犁駐在露國領事館より某所に入電ありたり（東京特電）

○露前副總理著紐

ケレンスキー内閣の副總理たりしアレキサンダー、コノワロフは監獄より脱走し紐育市に來れり（紐育電報）

○吳司令講和照電

湖南出征第一路司令吳佩孚氏は湖北督軍王占元氏に打電して曰く、本司令は湖南督軍張敬堯氏と協議の上在湖南南軍譚延闓、譚浩明兩氏と調停を經へ六月廿四日より七月廿四日に至る一箇月間の休戰を約す督軍は元より講和論者なり休戰中に贊成斡旋せられん事を望むと、王督軍は之に對し其立場に窮し居れりと（北京特電）

○吉林借款調印了

吉林森林借款は財政部と農商部との調印を終り完全に成立す（北京特電）

○砲兵工廠設置申請

倪嗣仲氏は蚌埠に砲兵工廠設立を申請せり（北京電報）

○工業動員令
植民地へ施行

政府は軍需工業動員法を各植民地に施行する爲め近く勅令を公布す可しと（東京特電）

○緬羊增殖と馬匹改良

寺内首相が嚢て拓殖局に命じ調査研究せしめつゝありし滿蒙に於ける緬羊の增殖及び改良に關する件並に滿蒙に於ける馬匹の改良の件に就き最近立花同局次長の報告に係る成案を諮問す可く拓殖調査會に提出するに決せり右に就き後藤委員長は近く會議召集の筈なり（東京特電）

○上半對支貿易

本年上半期の對支貿易は輸出合計一億五千四百萬圓、輸入七千六百萬圓差引七千八百萬圓の輸出超過を見たり（東京特電）

○有松拓殖局長官

豫て滿洲各地視察中の有松拓殖局長官は四日奉天着同地方各所を視察し夜は赤塚總領事主催の晩餐會に臨み五日朝撫順に向へり（奉天特電）

○高瀨理事哈市行

高瀨東拓理事は哈爾賓地方視察の爲め五日朝北行せり（奉天特電）

◉委員長招宴

既報の如く山縣殖產銀行設立委員長は五日午後七時より朝鮮ホテルに新聞雜誌通信者の各代表者を招待し晩餐會を開催せり

◉總監午餐會

山縣政務總監は六日午後零時半より阿部元京城日報社長及び加藤新社長並に山縣セウルプレス社長其他京城日報社の主なる者數名を朝鮮ホテルに招待し午餐會を催す可く宇佐美、小原、持地の各部長官、永田局長、郡山事務官、前田大佐、工藤秘書課長等出席すべし

◉鮮人下級官吏臨時增俸

鮮人下級官吏の俸給令改正せられ從來の最上級一級俸五十圓は七十圓に引上げられ從前より待遇を高めらるゝこととなりしが今回更に府令第六十九號を以て月俸三十圓未滿の朝鮮人官吏に臨時增俸の件發布せられたり右に依れば七月十五日より別に辭令の交附なく當然現在二十五圓の者は二十七圓二十二圓の者は二十五圓二十圓の者は二十二圓十七圓の者は二十圓十五圓の者は十七圓に給せられ四圓以下の者は各一圓を給せらるゝものにて右は近來朝鮮人の經濟状況生活向上の状態に顧み特に下級朝鮮人官吏一般に對し臨時增俸の詮議に出でたるものなりと

◉府尹會議（第四日）

府尹會議第四日は前日に引續き總督府第二會議室に於て開會打合せ事項を了し正午散會せり

◉定例長官會議

總督府にては五日午前十時より第一會議室に於て定例長官會議を開催し山縣政務總監以下各部長官局長等出席せり

◉阪神造船界
頗る盛況を呈す 伊藤課長談

大阪神戸方面に出張中なりし遞信局海事課長伊藤定弘氏は阪神海運界の近況に付語る

依然として內地の海運界は殷賑を極め活氣立つてゐる出貨は近來北海道方面を除くと

▲稍夏枯期 に入つたやうだが船舶界の底意は決して弱らず傭船料の如き四十圓を唱へ居る現状である阪神の造船界の一瞥した所が素晴らしい勢ひで目下神戸の川崎大阪の鐵工所等を主として建造されてゐる鐵船木船の數は五六百噸級以上約百隻に達しその內約六割は既に進水を終り盛んに艤裝を進め四割位が造船臺上にありと見て差支ないと思はれる又右百隻中鐵船と木船はどう云ふ割合かと云ふに木船六鐵船四となり先づ鋼鐵の不足缺乏は木造船の建造を非常に盛んならしめてゐる樣だそれから百隻の

▲建造船 は大部分甲板一層の貨物船である、殊に木造船は全部貨物船と曰つてよろしく手の大に掛り自然期限も永引く客船の建造は殆んど見られなかつたコレハ一面から云ふと吾が對外貿易の發展に伴ふ荷動き活潑を物語つてゐるものであらう、唯新造船を造船所も急ぎ註文主も急く結果近頃問題の新造船粗製濫造もなきに非ずと一例を擧げると舷側の鋲の如き打つた所が鍜頭然と凹みを有つてゐねばならぬのに所謂新造船を見るに恁うも其鋲に凹みを見せたりしてゐる、又大阪には小さい造船所が雨後の筍の如く出來てゐる、然し慌しく造られた造船所は

▲何等設備 の見るべきものなく技術に誇るべきものを有せぬ若干造船に經驗を有ちたる者が船價暴騰の際儲に思ひ立つたと云ふのが多いから一朝戰後の反動期が來ると之等小造船所の自滅は當然であらう

◉辭令

六月二十九日附を以て左記の通り辭令ありたり

補大邱覆審法院部長 高等法院判事 前澤成美
二級俸下賜
補高等法院判事 京城覆審法院判事 原正鼎
五級俸下賜
補京城覆審法院判事 大邱地方法院判事 宮頭兵一
補大邱覆審法院判事 釜山地方法院判事 末廣清吉
八級俸下賜
補大邱地方法院判事 釜山地方法院馬山支廳判事 尾家仁六
七級俸下賜
大邱地方法院判事 尾家仁六
豫審掛ヲ命ス
補釜山地方法院馬山支廳判事 京城地方法院判事 川野邊四郎
七級俸下賜
豫審掛ヲ命ス

◉內地行滯貨

六月三十日現在滿鐵京城管理局々線內に於ける在荷數量及其の輸送狀況左の如し

局線內各驛滯貨

	本州線	下關及び九州線行
二月中申込	二、二八六噸	五九四〇
三月同	二、〇一一	五九四
四月同	二、二八四	一、〇七五
五月同	四、八〇五	八六七
六月同	一、八七〇	[illegible]
計	二〇、二五六	[illegible]
京山驛滯貨	九六六	[illegible]
局線內輸送中	一、五五八	[illegible]
合計	二五、七八二	二、五三三六

尙關釜間及山陽線經由は本州行米原以東鮮滿發二〇〇噸釜山地發五〇噸彦根以西鮮滿發二八〇噸釜山地發七〇噸九州行鮮滿發一六〇噸釜山地發四〇噸にして局線發送に對する制限は車扱承認車數本州行毎日十五車九州行同四車也と

本紙定價 壹ヶ月金七拾五錢 參ヶ月金貳圓貳拾錢 六ヶ月金四圓參拾錢 壹ヶ年金八圓（前金）
廣告料金 一行（二十字詰）金一圓 ［illegible］
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社 電話 ［illegible］ 振替京城 ［illegible］

◉鐵道割增問題

去る四月中旬鐵道工事請負者にして現在工事に着手しつゝある者は協議の結果京城鐵道管理局に申請する所ありし工事費增加割增問題に對し管理局にては相當の調査をなしたる末四月十五日以降今年度既契約金額に對し四十五萬圓を支出する事となりたるが其の中最高率は三割九分にして申請せる四月以前四割四月以降の八割に徵し四月以前は削除され以降は半額率を增高させるものなりと

◉東拓鮮內貸出高

東拓京城支店朝鮮金融所の朝鮮全道に於ける不動產貸出の六月末現在は支店出張所合計九百十九萬九千四百四十九圓（農工債券を除く）にして之れを前月に比すれば新株引出の增加必ずしも不振ならざりしも地方農村の好況は同收存外に留まり居れり然も之れを前年同期の六百四十四萬圓に比すれば二百七十五萬三千圓の增加となり居れり尙ほ昨今は農繁期に入りしを以て貸附申込みも餘り多からざる由

◉手形交換高

六月中に於ける京城組合銀行の手形交換高は枚數五萬五千四百三十八枚金額一千七百七十三萬九千圓にして前年に比し約七百萬圓の增加を來し居れり又本年上半期の手形交換累計は三萬六千百〇二枚金額九千九百三十一萬圓に達し之れを前年に比し約六割の增加を告げ居れるが諸手形種類と枚數を擧ぐれば左の如し

種別	枚數	金額（千圓）
小切手	[illegible]	[illegible]
送金爲替手形	[illegible]	[illegible]
約束手形	[illegible]	[illegible]
引出切符	[illegible]	[illegible]
郵便爲替證書	[illegible]	[illegible]
公債々券利札	[illegible]	[illegible]
雜	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]

金額は千圓以上を切り捨たるを以て合計に於いて出合はざるべし

◉興債と鮮銀

朝鮮銀行に於て取扱中なる興銀債券五千萬圓の應募狀況を聞くに本月一日以來四日迄の應募申込額は一萬五百圓なり尙同債の公募は六日締切るべし

◉正米市場創立
廿日頃創立總會開催

京城に正米取引市場を設置すべしとの議に關しては其の後內鮮人側より之れが設立委員を設け著々歩武を進めつゝありしが一兩日前臨時事務所を京畿道廳總督府及び設立に關係する高野、天日、執行、小山、中島、今村の諸氏並に鮮人側の委員等の諸氏との間に交渉纏りたるもの、如く總督府の意見としては先物の取引のみ許可するは今後一箇月餘の不可を止むを得ざるとなり現物取引に對しては何等異存なきもの、如き由に於ても來る二十日頃を期し創立總會開催の事に議纏り居れりと而して取引市場の場所は南米倉町に設置さるべく同所專屬の仲買人を置きて商賣取引を行ひ爲すものにして自然市場公定相場を現出するに至るべく何れ創立總會の決議其他に據りて詳細其體案の發表と同時に同所理事其他役員の選任を見るに至るべしと其消息通の談

◉兩電線復舊

豪雨のため不通となりゐたる京城光州線並に京城木浦線の兩電信線は四日開通したるに付朝鮮內に於ける停滯せる電信は之れを以て一掃せりと

◇米調節理由
農相の訓示

此の程農商務省に於て開催せし農業倉庫協議會に於ける仲小路農相の米價調節理由訓示要領左の如し（東京）

農業倉庫は我國主要農產物たる穀物及び繭に付き一般中小農家の爲めに共同貯藏共同販賣の便宜を與へ併せて其金融の便に資し以て是等農業家の經濟的發達を遂げしめ併せて一般社會に對しては其生活の必需品たる主要穀物の價格に付き暴騰激落を爲すが如き極端なる動搖を來さゞるが爲めに之が調節按排の要具たらしめ以て國民主要食糧品の價格の平準を保たしむるの重要なる機能を有するものなるが凡そ

▲社會經濟上 最も必要なるは國民生活の基礎たるべき重要食糧品に付ては努めて其平準を保たしむるに在り然るに我國は全く世界的に重要食糧品たる米價は其他經濟上の變動に作ひて鋭敏なる影響を受け一石十二圓に激落するかと思へば一二年ならずして一石三十圓に近き價格を唱へんとするに至り其高低の甚しき其及ぼす影響の廣き之に過ぐるものは有らざるべし何となれば我國に於ける米價は國民生活の根柢を爲せる物資なれば勞働賃金も之に依りて變動を來し俸給諸給與も之に依りて異動を生じ各種の物資材料一として之が影響を受けざるものなく事業の經營設備は勿論終には農業其者すら計算の基礎を茲に置かざる可からず然るに其の大切なる根柢常に動搖し而も其動搖の程度少々にあらず一兩年の間に二十圓近き

▲單位の間隔 を見ると云ふに至りては採算何に依りて定まらん各種事業の計畫を見當として計算を樹て得られん經濟的組織に於て是程大なる缺陷を有するもの有らざるべし唯因習の久しき其關係の廣きとは之が革新容易の事にはあらざるも而も事の必要と經濟上の必須とは必ず之を果して然らば今日より各種の經營に於て其根本方針に顧慮し他日何れも必要の機關たらしむる施設を爲し置くこと最も喫緊の要務なりとす即ち公設の農業倉庫を全國に普及せしめ農時更に共同的販賣分布の機關たらしめ努めて調節按排の要具たらしむるの機能を一般に諒得せしむる

▲根本的組織 の形勢を馴致せしむる上に於ても其効果決して尠少ならずと雖も予は此際序ながら諸君の注意を喚起すべきことあり農家の一部に於ては政府の採りつゝある米價の調節に對しては或は商工業家に厚くして獨り農家に薄く或は都市生活者のみに注意を拂ひて農村を顧みざるの甚しきに至りては米價を以て五十圓以上に達するも他の物價に比して敢て不當なりと云ふべからずと而も其間に乗じて往々誇張の言を用ひて農家の意思に迎合するが如き者あるを耳にするは洵に遺憾とする所なり

▲說をなす者 あり今日の場合各農家に於ては其生產に努力し以て食糧品の增殖を圖り對外貿易を發展して米穀始め各種農產物の產額を多量に擧げ其他農產品の價格は出來得る限り高價ならしめ置くことこそ國家國民に對し之を勗むる所以なれ其目的を達せんが爲め之が奬勵の方策として米質を擧ぐることを爲す可く利益を以て導き利を以て誘ふ固より之も一方策たるべくも然れども所謂上下交〻利を爭ひ唯利にのみ是れ汲々たらしむることは決して全部斯るものにあらず若し夫れ其度を過ぐれば遂には射倖投機に走せ健實を害し浮薄の風を助長せしむるに至らん予は我農村の狀態は決して然らざるを信ず農家には相當の利益以外高尚なる職分ある事を自覺せる人決して尠からざる事を信ず

◉二千町步の開墾事業
藤井寬太郎氏の計畫

不二興業株式會社長藤井寬太郎氏は沃溝郡米面內に於ける干潟地二千町步開墾の計畫を立て此の程其の筋へ願書を提出したるが其の計畫の大要左の如し

群山上水道水源地の下沿海の干潟地より萬頃江に沿へる地點二千町步餘の干潟地に對し堤防工事を施行し海水の侵入を防ぎ別方の水利灌漑の便は上方の高地に通水路を設けて用水路と爲すと同時に灌漑に便せしむと其の他に於て之れを得るの途は容易なり由來同地は地味に於て水田に適良なるを以て本事業完成の曉は得る所大なるべし

◉北鮮鱈漁業

朝鮮に於ける鱈漁業の內南鮮方面（釜山沿海）にては鮮魚のまゝ需要地に送るの便あるも北鮮方面にては氣候及び交通機關の關係上是非とも製造加工の上需要に應ぜざるべからず鮮魚としての需要は一部分にして殆んど開き鱈として神戸下關を經て臺灣より南清地方に輸出されつゝあるが相場の如きも好況にて昨今百斤（二百二十尾）十六七圓を唱へ開鱈一尾約七八錢見當なるが北鮮に於ける生鱈の相場は一尾四圓二三錢なれば其の生產費は副產物たる肝臟油魚肥等に依りて償はるゝを以て生魚相場と開鱈相場との差額は純益となるを以て北鮮の鱈漁業は加工に依らざれば利益を增進する事を得ず前途は益々有望なる事業として嘱目の價値あり然し乍ら朝鮮の鱈漁は北海道樺太方面の如く鱈網にては漁獲不能なるを以て生餌或は生鯖に依らざるべからざる爲め往々不足勝ちにして目下の北鮮鱈漁は鱈群を追ふての漁撈に非ず餌料の豐富なる場所を選む所謂餌料を追ふての漁業にして之れが爲め漁獲高增加は勿論のこと不均數量をも計り難き有樣なるを以て餌料問題を先決するに非ざれば鱈漁業の發展增進は不可能のこと云ふべく目下は生鯖章魚イメンス等を使用せるも將來は烏賊を使用するも可なるべきが要するに價格低廉にして豐富なる餌料を得るの必要ありと

◉元山近海の不漁

近元山近海に於ける鯖漁狀況を聞くに頗る不漁にして殆んど漁獲皆無の狀態にあり之れ渦般來海水溫度激降の爲め鯖群の游泳無く總卷網數約百二三十の內十四五統僅少の漁獲を見しのみにして他の網には全部漁獲なく經過せり而して該僅少の漁獲をも庫底方面にありしのみにて元山灣內及び近海に於ては皆無の有樣なり海水溫度は客月十七八日頃漸やく六七度にして同廿七八日頃に至り九度十度に昇りたれども既に昨今は鯖盛漁期を經過したる事とて今後の漁獲も絕望の狀態にあり本年は未曾有の大不漁と思惟せられつゝあり之れが爲め當地經濟界も多大の影響を被るに至る可く殊に元山鮮人漁師間にありては最も甚だしく經濟界の不振を來す可しと觀察せられつゝあり然れ共當地魚市場のみは此不漁に作なひて前年同期に比し約一萬圓以上の增收を見たり之れが原因は近海漁獲無き爲め特許船に依りて內地に移出す可き鮮漁は纏まりたる荷造りをなす能はず爲めに同船は其半端なる水揚高を當市場に於て放賣したるに依るものなりと

◉京畿道植付狀況

京畿道管內本年の稻植付は當初稍々雨不足なりしが其後頻繁に降雨ありたるを以て來る七八日頃全部終了する見込みなり

◉湖南沿線挿秧了

湖南沿線は用水不足の爲め今日迄二三割方見當の挿秧をなしたるに過ぎざりしが今回の降雨にて用水潤澤となり平野部山間部を通じて一齊に植付けをなせるが之れにて全部終了するに至る可しと

◉府市區改正區域

大正七年度京城府內道路改正費として計上せられたる總額は三十萬圓なるが現今一般物價暴騰の際なれば使途は從前に比し幾分減退するの已むを得ざるに至るべく本年度內既定の工事は南大門前より古市町停留所に至る目下着手中のもの及鍾路通りより大安洞に至る典洞の取擴げ工事及昌德宮通りの本工事等なるが典洞は目下土地收用中なるが近く工事に着手すべく昌德宮通りは人車兩道を整理するものなりと

◉府技師近く任命

本年度より京城府に土木技師一名常置せらるゝこととなり居れるが近く平壤土木局出張所技師杉與三氏任命さるべしと

◉鐵管埋設完成期

京城水道當局にては纛島淨水源地よりの不足分鐵管目下埋設中なるが本月末には竣工す可しと

◉遞信局定期昇給

遞信局にては六月卅日附遞信書記技手航路標識看守書記補等百數十名に對し定期昇給を行ひたり

◉蔘業會社許可

開城朴宇鉉氏外三名より人蔘の製造販賣（エキスを除き人蔘を原料とする製造物の製造販賣）及蔘の賣買並蔘業資金の融通等を營むを目的とし資本金二十萬圓にて合資會社高麗蔘業社設立許可を總督府に對し申請中の處七月四日附を以て許可の指令ありたり

◉龍山小學校起工期

總督府の設置認可を受け本年度內に竣工せしめ大正八年度一學期より開校の豫定を以て目下京城府學校組合に於て實施設計着手中の龍山甲小學校新築工事は愈々進捗し來る八月中旬頃工事入札に附せらるべく落札決定次第工事に着手すべしと工事費約五萬圓內外也

◉鑛業登錄（自六月廿六日至同廿八日）

▲鑛業權設定
金 黃海道谷山郡底鳴面平安南道成川郡崇仁面 六十三萬九千百十八坪 富田儀作
同 平安南道成川郡崇仁面 八十六萬八千百八十坪 同人
同 平安北道博川郡 九十四萬九千二十四坪 同
鉛 平安北道博川郡 十六萬九千三百四十四坪 藤山定七
鐵 江原道江陵郡望祥面 八十五萬三百八十七坪 藤井寬太郎
同 咸鏡北道城津郡鶴上面 八十八萬八千五百坪 布谷鐘信

▲鑛業權移轉
平安南道平原郡兩花面 石墨 東洋鑛業株式會社
同 順安面兩花面 同
同 兩花面 同
同 大同郡在京里面 同
同 陽德郡洛川面 同

▲鑛業權消滅
平安北道朔州郡兩山面 石谷龍次郎
忠淸北道永同郡鶴山面 同
同 黃澗面 同

▲共同鑛業權者脫退
江原道洪川郡乃村面
全羅南道光陽郡光陽面 森谷馬吉 任意脫退

◉鮮銀總裁著京

朝鮮銀行總裁美濃部俊吉氏は五日午後一時三十分東京著午後二時三十分築地西本願寺に於て執行の故阿部鮮銀理事葬儀に參列せる旨其の筋に入電ありたり

◉阿部吉田兩氏別宴

阿部前本社長及び吉田前朝鮮郵船專務兩氏に對する官民有志の送別會は四日午後七時花月に於て催されたるが所定まるや持地長官發起人を代表しての鄭重なる挨拶あり次に阿部吉田兩氏の謝辭ありて餘興に移り力士連の角力甚句、藝者連の擬力士出演等ありたり此の夜出席者無慮百五十名幾んど京仁の紳縉を網羅し頗る盛況を極め散會したるは午後十時半なりき

◉片山日銀理事

平壤視察を終り四日夜再入京せし片山日本銀行理事は五日仁川を視察し同夜朝鮮銀行專務の招宴に臨み六日朝發歸東すべしと

◉京電の招待宴

京城電氣會社にては七日午後六時半より京城記者懇話會員一同を花月に招待し晩餐會を催す可しと

◉記者懇話會

京城記者懇話會第三回例會は六日淡江に於て開催の筈なりしも都合に依り一日延期し七日（日曜日）午後六時半より花月に於て開催の事となりたるが出席者は當日所定の會費持參せられたしと

◉藥學會例會

朝鮮藥學會例會は七日日曜日午後三時より旭町二丁目山岸天然藥試驗部に於て開催さるべく左の如く兩氏の講演ある筈なり

平壤

▲鮮支航路調査 近頃朝鮮郵船會社が仁川を基點として鎭南浦、新義州、安東縣、大連、芝罘の各港を經由し青島に至る航路開始の計畫あるやにてこれに關し四日來平壤稅關に於ては道勸業課及商業會議所に於て輸出入品の調査を爲し居れり

▲岩崎男動靜 岩崎男爵は四日武田機關中將三宅川事務取締及水谷礦業所長等と共に無煙炭採掘の狀況を視察し午後五時旅館柳屋に歸來し七時より平壤に於ける各官衙の主腦者を大同館に招待せり

▲立花中將招宴 豫て步兵第七十七聯隊第二期檢閱の爲め來壤中なりし第十九師團長立花中將は今期檢閱無事終了せしを以て三日夜主なる官民十數名を大同館に招待し盛大なる懇親宴を催し四日午後一時三十三分平壤發列車にて大沼副官を隨へ歸任の途に就けり

全州

▲陸地棉良好 全北道にては夙に陸地棉作獎勵上六年計畫を樹て指導し來りたる結果年々作人の數次第に增加し本年の如き其數七萬二千三百十五戶に達し從つて播種反別の如きも七千二百二十五町七反五畝步に上り之を昨年の四千二百町步に比すれば著しき增加率を示し居れるが北成育も至つて良好にして收穫豫想は約五百六十萬斤之を代價に見積れば優に百二十萬圓の利潤を得べき見當なりと因に本年を以て第一期計畫を終へたるを以て明年より第二期に移る筈なりと

▲製筵會社 全北金堤郡金溝在住の田中光政氏に依り計畫されたる藺草栽培及び之を原料とする製筵事業は同氏が數年來の經驗に依り有利有望の鮮人副業たるを認め今回貴族院議員荒井泰次氏並に衆議院議員柵瀨軍之佐氏等の賛同を得資本金三十萬圓の製造株式會社を組織し本社を全州に置き鮮人副業獎勵の目的を以て近く認可申請書を提出すると同時に遲くも來る九月までには成立の運びに至らしむべく計畫の步を進めつゝあり

謹次阿部無佛先生東還原韻　趙重應
君去何從窅我疑。昏衢鳴鐸憶當時。江山八路齊民眼。共逐行旌萬里馳。

謹次原韻　呂圭亨
痛飮平生不復疑。縉紳貴介亦同時。因茲小阻仍成別。意馬牛情爲一馳。

無佛先生喜作佛語輒效其體再疊　同人
三大功成憤信疑。翩々隻履返西時。牛頭融與貴梅泥。分道揚鑣且各馳。

人事消息

▲大塚日銀檢査役 五日朝木浦へ
▲佐藤殖銀二部長 五日朝歸京
▲白井水城氏（辯護士） 五日夜開城へ
▲中村澤藏氏（中村商會主） 滿洲方面へ出張中の處四日朝歸京
▲柴崎鐵吉氏（京城中學校長） 學事視察の爲め黃海道及び平安南道管內へ出張を被命
▲稅田谷五郎氏（總督府稅關監査官） 貿易品生產及び需要狀況調査の爲め滿州出張を被命
▲吉浦林務課長 五日朝平安北道方面へ
▲宮木全南道長官 四日午後入京天眞樓
▲是立丈治郎氏（東拓殖產課長） 四日午前九時五十分發列車にて北行
▲岩崎小彌太男（三菱社長） 五日午後七時二十五分著入京

茶前酒後

◎西伯利に西伯利政府宣言に頑東政府現れ反過激派の勢力日々に盛んなり
◎政府が此處に現れ彼處に現れ思ひ思ひの政策を取れば又又揹た揹だの始末
◎西伯利政府と東支鐵道の霍將軍と早く仲良く合併せよ
◎今日の西伯利は兵力と資力が一番肝要なり血を以て助けば血統者の天下
◎血統者を助けよとは洒落でも冗談でもなく諸國共通の意あり
◎女は不絕服役すれば狂言と傳ふ
◎獨探の大芝居は自國軍を遺棄し革命の狂言に國家を滅茶に打ち碎く
◎之から何な芝居を打つが獨の手先となり取つた!!を打たずんば幸
◎北滿米人の活動は目覺しく東清線は既に調査期を過ぎ實行期に入る
◎哈爾賓の如きは少年軍を組織し慈善市を催す等着々として大努力
◎邦人は兎角法律論に行より安全第一ならんも伸び方は齒痒き程遲し
◎英米人は法治國の先驅乍ら法に躊躇せず之を活用す其秘訣を知れ
◎波斯は彼斯太子が太守の重要地武市は波斯使入國が易々占領せし多
◎英米領事館も存在而も其後何等の消息は鬼の見ぬ間に命の洗濯か
◎教賀地方にては頃日紙幣の缺乏が流行し何處でも此の珍現を見る
◎便船所に露貨來着御祝儀は大抵二三十留所か日貨で僅に四五圓也
◎時替も借いと扱てこそ紙幣代に屏風に貼付置くとは之も崩落餘殃
◎大阪の各會社の重役中には賞與金なる者續出せりとは扨も々々
◎半季に三千五百七十萬圓の利益を上し大阪商船重役配當卅萬圓宛

大正七年七月一日改正現行

（時間表）[illegible]

日英親交の永續

兩國交驩の深厚を認めたり コ殿下來訪の印象を語らる

◇其陸軍をも用ふべき覺悟あり

タイムス東京通信員は報じて曰く予はアーサーオブコンノート殿下に拜謁の光榮を得殿下の日本來訪の印象を聞取する機會に接したり殿下曰く予が使命の大目的は達せられたり即ち英國皇帝陛下の權力內にある軍事上の最高榮譽たる英國陸軍元帥杖を正式に陛下の同盟者たる日本皇帝陛下に捧呈したり、捧呈式は一切の禮式を備へて行はれ甚だ莊重なりしが而も戰爭狀態に適合す可く簡素に擧行されたり、予が東京市街を通過するや到る處人民は衷心より深厚なる歡迎を表したり予に對する禮遇は政府及び人民が英帝國に對する感情の一般を表明せるものなり、予は日本各階級が日英同盟の價値と相互に與ふる利益とを充分承認し之を以て極東平和の保證とし此の關係を鞏固ならしむるに依り餘力を殘さゞらんことを感じたり吾人は日本が現戰役に際し同盟の義を盡し既に海軍を用ひたる如く其陸軍をも用ふべきの覺悟ある事を充分に認識す、日本海軍が地中海のみならず印度洋南洋の治安を維持し世界の商業交通を保護したるの功績は最も偉大なるものなり予は日本の各階級が、予及び予が代表する英國々民に對する交驩の深厚なるを認め、日英親交の永續する吉兆と確信しつゝありと(東京特電)

馬賊團 輯安縣に現はる

一團六十餘名優勢と認めらる 朝鮮側へ避難頻々=我官憲警戒嚴重

六月十二日午後四時頃各自銃器彈藥を携帶し支那巡警の服裝を爲せる馬賊約六十名頭目任學川は鴨綠江對岸西方約二里十二丁輯安縣秦和堡三道溝に現はれ同地支那人宗業に對し

◆巡防兵 なりと自稱し同地保衛團巡警の氣勢を示し且同團團長に對し自己の名刺を附送せんことを命じたるが更に保衛團にては彼等の行動を探知しありし爲め直ちに團員全部を附近に散開せしめ攻擊の態勢を取りたれば賊は暫く情勢を見んと稍く更に北方三里の奧地に引揚たり

◆保衛團 にては該馬賊の優勢なるを認め現在兵を以ては到底抵抗不可能なりとし北巡警局に應援を求め右應援隊到着迄一時保衛團を引挪ひ團員附近山林若くは民家に出で附近を警戒しつゝ應援の來着を待ち居れり右の

◆狀況を 聞知したる同地住民は續々鮮地延署理管內在所管內慈城郡巡下面上几浦に避難し來り十四日午後迄に其人員四十名に達せり避難民中保衛團長の家族あるが該馬賊は同人等を拉去する計畫ありとの說盛んにして

◆避難地 には馬賊來襲するやも計り難しとて戰々兢々たるの有樣なり附近我警務官署にては彼等に相當保護を與ふると同時に目下嚴重に警戒中

◇日光御避暑

天皇皇后兩陛下には二十日頃御同列にて日光田母澤御用邸に御避暑遊ばさる、由洩れ承る(東京特電)

山屋中將同乘 吳海軍飛行

四日吳に於て海軍飛行機飛行す其際山屋中將同乘せり(吳電報)

◇白く光る御路=五日光化門通所見

萬國丸火災 佛政府傭船中

佛國政府に傭船中の大正汽船萬國丸(九二〇〇噸)亞弗利加東海岸に於て火災を起せしも船體に被害なし(大阪特電)

兵庫の火事

三日深夜兵庫縣飾父郡伊佐村字小田齋田德平方より出火し全燒十一戶半燒二棟に及べり(大阪特電)

小笠原島 旱魃 蔬菜枯死 島民恟々

◇五月以來降雨なし

小笠原島は五月以來降雨無く旱魃の爲め蔬菜類枯死し猶炎天續かば草木無きに至る可しと島民恟々たり(大阪特電)

清州大水害 鳥致院間交通全く不能 行方不明數名あり

忠北清州にては無心川の氾濫のため市街、榮町、大黑町、相生町一帶浸水家屋多く前記各町の商店中砂糖、メリケン粉、綿布、綿絲等浸水の被害に遇ひし家多數にて又北二面には倒潰家屋多く行方不明者數名あり目下捜索取調中なるが殊に鳥致院清州間の道路決潰し橋梁五ケ所流失し交通全く不能となりしを以て自動車の運轉を見るまでには尙一週間を要すべく故に京釜鐵道線との聯絡全然不能となれり更に清州より京釜線芙江に至る道路も決潰の箇所あり且つ橋梁二ケ所流失せり(清州)

金剛山の探勝

何う云ふ順序に依るが便利か 五日以內に探勝し得る

『私は金剛山は自然の產んだ最もグロテクスな畸形兒であると思ふ內地では金剛山に一番近い小さな畸形を求むれば、それはまづ耶馬溪を擧げるより外はない、けれど百の耶馬溪を以てするもなほ金剛山の雄大怪奇を說明する事は出來ぬ、それほど金剛山の溪谷は豪壯であり、複雜であり、崇高であり神祕である』とは小說家菊池幽芳氏の探勝記の一節であるがその金剛山もこれから愈々本當の探勝シーズンに入る、探勝の順序日程には幾通りもあるが滿鐵京城管理局で發行した「金剛山案內」によると五日以內の短い日子で金剛山の名勝を一通り遊覽し得る最も便利な方法が三案ばかりある、第一案は所要日數五日間第二案と第三案とは同四日間である、即ち

▽第一案(所要日數五日間)

第一日 南大門發午前七、一〇平康着午前一一、〇〇長安寺着午後六、三〇

第二日 表訓寺正陽寺萬瀑洞見物の後長安寺に引返し宿泊此日の行程約二里

第三日 長安寺より自動車を貸し細洞に至り此時間約二時間細洞より徒歩溫井嶺を踏み萬物相に到る、此間上り約一里下り二十町、萬物相見物後溫井里に到り宿泊、此間下り約二里

第四日 溫井里を發し玉流洞に入り九龍淵より溫井里に引返す、此日の行程約六里

(但し此日玉流洞見物を海金剛見物に代ふる時は溫井里より自動車を貸し高城に到り帰途海金剛見物後自動車にて溫井里に引返す、溫井里高城間自動車運轉時間約四十分)

第五日 自動車溫井里發午前七、〇〇葛麻着正午葛麻發午後一二、一三南大門着午後六、五〇

序に京管局の計算によつて右に要する費用を示すと

金剛山週遊探勝券二三圓七八▲長安寺ホテル宿泊料(二日分)一〇、〇〇▲長安寺細洞間自動車貸二、四〇▲金剛山ホテル宿泊料二日間一〇、〇〇▲合計四六、一八

但し海金剛行の場合に次を加ふ

溫井里高城間自動車貸二、四〇(往復)▲海金剛遊覽船貸二、〇〇▲合計五〇、三八

右費用は汽車は二等、宿泊料は米式一日金五圓の割合により計算したものであるから贅澤さへしなければまだ安上りに行くこと勿論である、尙探勝に付き案內者を傭ふ時は一日に付き一人八十錢乃至一圓を增す、因に第二第三案共此計算に依る

▽第二案(所要日數四日間)

第一日、第二日 第一案に同じ

第三日 長安寺より溫井里往復此行程約三里

第四日 自動車長安寺發午前七、三〇平康着午後三、〇〇平康發午後三、三〇南大門着午後六、五〇

費用概算 金剛山往復探勝券二四圓七八▲長安寺ホテル宿泊料(三日間)一五、〇〇▲合計三九、七八

▽第三案(所要日數四日間)

第一日 南大門發午前七、一〇葛麻着午後一、四二自動車葛麻發午後二、〇〇溫井里着午後七、〇〇

第二日 溫井里より萬物相(往復)此行程約四里

第三日 第一案五日目に同じ

第四日 第一案四日目に同じ

費用概算 金剛山往復探勝券二三圓七八▲金剛山ホテル宿泊料(三日間)一五、〇〇▲溫井里長安寺間自動車貸二、四〇▲合計四一、一八

自動車運轉 元山溫泉

元山溫泉里間の自動車は先頭の豪雨にて一時交通不能なりしが四日試運轉の結果良好なりしより五日より運轉する事となれり

帆船の沈沒

風波のため

龍山元町三丁目成興成は自己所有の帆船中和丸(十六噸)に外六名と共に乘組み江華島西島面老島沖を航行中七月二日午後十時頃風波の爲め俄に船體顚覆し積荷、石首魚(七百圓)は悉く流失し乘組員七名は辛く上陸して此の程歸宅せしが船の損害六百五十圓なりと

漁船の顚覆 慶北迎日

慶北迎日郡九龍浦室野與四郎所有鯖の流網漁船(二十石積)に五名の漁夫乘組み六月二十三日迎日郡大甫沖十五海里沖に出漁中突然風波の爲め船體顚覆し五名は漂流中を四名救助されしも朝鮮人漁夫一名行方不明となれり船體損害三百五十圓積荷六百圓なりと

婦人と小供

◆婦人の體育は十分考へなくてはならぬ 成田高女校長談

『五月の雨が各地の慘劇をつたへて降りしきる日の午後、久し振りに南山の綠の樹蔭に十年の歷史を語る京城に於る邦人中等學校の最初の設立たる高等女學校の門をくゞりました窓から洩るゝピアノの床しい音と少女のしめやかな聲とが雨に亂れて聞えて來ます校長の成田先生は『やあ、しばらく』と迎へて下さいました、そうして次のやうなお話を皆さんに御紹介する事になりました

□ね、十年つて云へば永いやうでまた短いものです、既に十週年の經過した釜山仁川等の學校もありますからそれで私達が鼻を動めかす事は出來ません、たゞ初め居留民の自治體であつた時代に列國環視の中に斯うした學校の設立された事が嬉しいのです、そして幾多の變遷を經て開校當時八十餘名の生徒であつたのが今日では一學年のみでもその倍數に達するの盛況で內地の女學校に取るやうな事は決してありません。

□近來何れの女學校でもすべての方面に向つて步を進めてるやうですが中でも體育と云ふ事に努力せられてるのは何より喜ぶべき事でありますしかしこの體育、別して女子の體育については十分に考究した上で實行しませんと失敗に終るやうな事になります、內地あたりでは各女學校が競うて薙刀をやらしたやうですが昨年私が視察した時なんか、だんだん廢止する學校もありましたこいふわけで婦人の體操には十分考究を要する事であります。

□何地方の少人數の學校では個性教育の實をあげる事が出來ますが、本校あたりでは數十人を一人の教師が教へるので各個人に渉つて綿密な教授はとても出來兼ますが、缺陷も來さないやうですまあ卒業後は其大部分が社會に送り出されるのですから社會的智識をよく得させなければと思ひまして近い內に御社を參觀させて頂くつもりです。

五日目の稽古場

天氣なのは琴ケ浦に千葉ケ崎 二日間日延となる=土曜日曜に見られる

五日目は京城興行千秋樂の日早朝から稽古場に現れた鳳以下大潮、三杉、鳥などは盛んに申合ふ

◆元氣なの は琴ケ浦千葉などで琴は大帥、大潮、藤の川、鈴風、三杉などゝ亂取り、千葉ケ崎は鳳、三杉、藤の川、大戶平などゝ組み大潮千葉を突出して勝ち鳳に大潮は大潮左を差して遮二無二突進みたるを鳳土俵際に堪て見事に

◆打棄れば 大喝采三杉をば難なく吊出し藤ノ川鳳を突き出すなど火の出るやうな稽古をしたのは觀物であつた

▼日延の交涉 京城興行中の雪入日なる前週日曜は折惡くも雨天であつたばかりでなく前後三日間雨天休場したため勸進元の目算がらりと外れたので京城興行五日を七日に延期し土曜日曜を以て是までの埋合せをすべく次興行地なる元山に至急電報を以て交涉中

▼二日間 日延べ

別項の如く延期交涉の結果土曜日曜二日間の日延を決定せり

パラチブス漸減

京城のパラチブスは一昨年猖獗を極めしも當局の防疫當を得て漸次減少の形となり近く終熄すべき模樣なるが尙油斷は出來ずと

對馬丸入港せず 聯絡なく北行

四日夜入港すべき對馬丸は釜山港外にて濃霧の爲め入港せず爲に同夜十一時半發急行旅客の聯絡を爲さず北行せり(釜山特電)

▲內地便不著 四日夜著すべき連絡船は別項の如く入港をしなかつた

灯ともし頃

京城は近來名物の小泥棒が餘程減つて其の被害が少くなつた▲これはパラチブス腸窒扶斯などの傳染病が盛んに蔓延したので警察官憲では毎日非番巡査迄も使つて檢病的戶口調査やら、消毒やらを勵行する爲め櫛で梳き上げるやうに警官の往來が繁しい處から小泥棒が身を匿す餘地が無いのが一原因をなしてゐるだらうと▲元來京城の警察力は人口に比較して巡査巡査補を混ぜて一人で約八百人の擔當になつてゐるさうだ▲之れを內地の大阪あたりに比較すると大阪では警官一人に四百餘人の比例であるから割合から言へば警官の配置が甚だ少ないことになつてゐる▲併し直接人民に接觸してゐる警察官廳たる警務部以上の數であるけれど監督官廳たる警務部以上の警官が尙多數あるから強ち警察力が薄弱とは言へないことになつてゐるといふことである

運動界

▼法政對京城試合

朝鮮新聞社主催法政大學野球部對京城軍野球試合は五日より三日間京城中學校グランドに於て開催さるべく第一日は午後四時より法政對鐵道軍、第二日は正午より法政對京城倶樂部、第三日は午前十時より法政對鮮銀軍、同日午後三時より法政對ダイヤモンド軍なり

聲樂講演

聲樂家清水兒氏の來京を期とし其妙年聲樂に指揮者の聯合主催にて長谷川町日本基督教會に於て同氏の聲樂講演あるべしと

中元聯合大賣出

京城龍山呉服商組合にては五日より十日迄大賣出を催す由

謎者文藝(一等に金十錢の書籍券を呈す)

▲謎『隴こかけて』

◎上手な法螺吹と解く心は外から見透されぬ(一等) 京城太平通二ノ二二六 松永りう子

▲賢き妻と解く 心は家中の缺點を隱す 寒逸 衆 扇子

▲女の禿頭と解く 心は外から見れぬ 京城 默 鬱 坊

文藝 謎語及び募集規定

□募集規定 ▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に雅號又は住所氏名明記の事▲

商況

東京期米特電

四日後場 一信 二信 三信 二十四圓五十四錢

兵庫期米特電

五日前場 一信 二信 二十四圓八十一錢

大阪株式特電

株名	拂込額	四日後場
宇治川水	五〇、〇〇	—
京阪電鐵	五〇、〇〇	—
東洋紡績	五〇、〇〇	一九二、一〇
合同紡績	五〇、〇〇	—
新潟紡績	五〇、〇〇	一三九、五〇
同上新株	四〇、〇〇	一二九、〇〇
東洋製糖	五〇、〇〇	—
大阪商船	五〇、〇〇	二〇七、三〇
日本郵船	五〇、〇〇	—
同上新株	五〇、〇〇	—
堂島米穀	五〇、〇〇	—
東京株式	五〇、〇〇	—
大阪株式	三〇、〇〇	一三二、五〇

大阪三品特電

五日前場	
七月限	三三七、九〇
八月限	三三七、九〇
九月限	三三八、〇〇
十月限	—
十一月限	—
十二月限	—

大阪期米特電

	五日前場	後場
當限寄付	二六、〇九	二六、一四
中限寄付	二四、五〇	二四、五六
先限寄付 二節	二三、九〇	二三、八三 九、八四

下關期米特電

	當限	中限	先限
寄付	三六、理想實	三四、三六	二四、六四
二節	三六、四四	三四、三六	二四、四六
止め	三六、四四	三四、三七	二四、八八

雜報

綿糸布軟調 大阪

三品は當限三百三十七圓九十錢九月限三百三十八圓更に二三と前場よりは更に二三

圓乃至五圓方低落 せり九月限以降は立會延期の爲め寄付電報未着なりしが

二三十一圓 生金巾手三綿布 一圓十五錢中なり

▲正米底強し 米は昨日前場に十錢安

何分賣物日々に減少 漸次の混合ひにて賣人の態度又に強硬を加へつゝあり又は多少の底堅き手持ち向は兎に角其の取引は捗々しからず地方よりの新規買付も少く前途は少し不安を感じつゝ有り

眼先尚低落の望 大阪市場にては前場の如く大阪引續き下落し小口買物少く眼先尙低落の望あり

亞鉛線昂騰す 亞鉛線は眼先輸入なき由の當時前は兎に角材料の昂騰と同時に向ふ市價は十錢方高騰し之に依り

十錢其他各番五十錢高 市中の入電に接したるより遂に八番線一圓五十錢

二十五圓五十錢を唱へ

洋釘更に高報 洋釘は其後大阪一圓五十錢高

十錢高の入電

當市中氣配も益々硬化の模樣あり原因は前報の如く材料高と輸入品薄に加へ今後の輸入困難等にて前途供給不足の懸念を認めつゝあるにより併し一時不引合の機に鑑みて多少の採算

餘裕 を生じたるやに思はれ當市中としては此上大なる昂騰は望み難く限先連商談の如何によつては此邊に踏止まるべし

大連市場 圓內外 多少採算

平板引締まる

平板は本年四月末以來漸騰を續け今日迄に一圓四五十錢方の昂騰を示せしが此間內地相場に比して常に上げ後れ順次割安を以つて推移し來りし折柄銑鐵價格の硬化を報じ動もすれば內地との値開き大ならんとする傾向なれば市中氣配も追々內地との接近を迫らるゝに至り昨今漸く十錢方を引上げ三十番首印四圓八十錢赤丸四圓七十錢となりしが眼先商談の採算上アポロの五圓迄に上るべしといへり

燐寸は不振 大阪

情報によれば本邦燐寸の需要地たる支那印度及び南洋方面が昨今一般雨季に入りたる折柄此等各地が該雨季に先立ちて手當を了したる事とて對外商談は去月中旬來絕切り杜絕し前旬の如き數年來の海商內祀盛を劃せる程にて從つて小製造業者の投賣りする者勘からざる爲め各三四方の低落を來たし目下安全五十二圓實勢四十一圓見當を唱へ居れるも一方に於て海外各地が手當を了したるより之が回復には又大製造業者側は何れも相當の期日を要し且つ原料は一般硬化の爲め注文を有し居り低落せる外軸木板紙等何れも從々強硬なる事も加ふるに流筋の投物あるべく加ふるに先約の度當分商談の復活は望み難かるべきも前途此以上の安値は期し難き模樣なり

小豆賣物減少

小豆は氣配良好さいふにあらさるも弗々手合せあり出來値は

花小豆

上物十五圓三十錢 滿洲物上十六圓に出來せしものあり賣物は追々減少模樣なれば眼先幾分の氣直りを期待せられるに至れり

支那粟持合ひ

支那粟は其後格別變らず上物は弗々望人あるが昨午後の取引は總りし上海上物十一圓三十錢にて出來せし由尚品薄の爲め附値十四五十錢口當なるが如し

莊子高胡麻安

莊子胡麻は殆ど望人なき今日に於て強いて賣らんとすれば附值は多少前唱値より約一圓內外の下値にて五に商談進まず市況閑散を呈し居れり又莊子は之に反し望人は可成り現はれついあるも賣物なき爲め自然人氣は強硬にて三四十錢高となれり

寒天頗る強調

寒天は依然好況大手筋買占めに細物突飛せし以來角物も漸次上向きとなり殊に原料天草は昨年當時に比し非常に暴騰を告げつゝある爲め產地は最近又々高騰を誇らるるのみならず產地は不引合ひの高氣構へなりさいへり市中相場は信州物手本に二十一二圓處に當る內地附近の物は不引合ひの爲め入荷中絕の姿なり

下關相場

▲朝鮮米も手堅し 過日來品薄に出廻りありし模樣にて以來買氣進まずと雖も何分產地との引合なるゝ內地正米も相場手堅き商情にある柄各米主の意嚮強きに依り矢張市況底強く昨午後一等白米以許りは稅關渡しとして二十九圓六十錢に手合せ行はれ其他弗々の出來値は左の

釜山物産市場 四日

▲玄米 廿錢高 各地定期の步調保合強堅となりたると朝鮮各地集散地在來米商を報じ居れば一般に買り控への姿なる折柄市場にては三物米口の買進みありたれば市況は引續き品薄にて相場は又廿錢方昂騰し午〇中二千俵以の取引行はれ出來値は前項の通りなるが內地大市場は兎も角も當市場にては相場も手堅く漸く乘り居る等日先き引締りを見るとも一寸押しはなかるべし

仁川正米

▲糯の入津弗々あり▲正米は依然とんとん狀態にて見送り居るが今日は又大阪定期米の大暴落を報じたるより更に商談行はれず

南大門廻穀

水原白米九五九叺安東粳米二七叺水原玄米五九叺安東小豆二五叺平澤粗一六叺水原粗一七叺海州小豆二七叺遼陽粟一〇叺義州小豆二五叺瑞興大豆八叺

▲朝鮮一等白米二十九圓六十錢▲同(常用)三十一圓▲同糯米期渡廿九圓五十錢▲元山大豆十八圓六十錢▲宣川大豆十八圓四十錢▲フリツガ大豆十七圓六十錢▲平澤大豆十七圓六十錢▲肥料の現況 魚肥は前報後鮮▲

粕五千五百叺大豆粕六千叺雜粕六千叺▲大豆は依然活況なし 其後當地の依然各地人氣不引立に依る內地來の輸入ありのみならず又是迄餘りに値上り過ぎし爲め手控へ氣味なる品多く前記の通り少しく氣崩れの氣配あるも何分限先追肥の時季に向ふ事なれば市況は爰許にや一向注文入り來らず先づ當分步々しからずして市況活氣なく然れども何分限先き追肥の時季に向ふ事なれば市況は閑散を極め居れり

仁川期米

五日前場(下濫る)

▲第一節 各地前寄來着にて當中止 先二十二圓二十四錢と四錢 安に寄付きたるも買物多く四錢と押した るが押目は又買物多く四錢と返し

▲第二節 先二十二錢より一錢と押して引

▲第三節 先二十二錢より下步

前寄 四十錢の入電に

大阪天候晴天 二十三圓九十九錢兵庫は二十四圓八十一錢の入電に

買物忽ち二圓〇一錢と暴落 したるが利喰に新規買物現れ十二錢と返し〇八錢と大波戰

▲第四節 大阪二節九十一錢安に安移りにて先〇七錢より五錢と押したるも買物多く十錢

生魚市場

○京城日丸市場 不日は仁川鯛元山鯖サヨリ小鯛、群山鯛其他小物取合せ廻着ありしも總數去程多からず氣配は前日と大差なし

▲仁川ダイ三一▲群山ダイ二六▲サワラ二〇▲スヾキ一八▲ヒラス一四▲メジロ一三▲ハモ二〇▲アナゴ一六▲ゲチ八▲サゴ一▲アワビ三八▲マナガツヲ一六▲マス一五

市場雜觀

▲昨後場は大阪前止五十二錢東京五十七錢後寄來著にて當地當中停止先二十二圓二十四錢と寄付きたるも買物多く二錢と返し三十錢高と新高値に上伸せしが高値に押し八錢と併合したり▲大阪前場が前報せし如く高直を示現したるが後場は漲ひに存外伸び悩み引緩んだ所も大阪定期の寄付き迄に大幅下げを見せ居れり

仁川正米

仁川米豆取引所

五日の九月限

前場	寄付	高値	安値	止め
一節	二十二円二十四錢	二十二円三十錢	二十二円二十錢	二十二円二十錢
二節	二十二円二十錢	二十二円二十錢	二十二円十錢	二十二円十錢
三節	二十二円九錢			

賣買取組高 七月限 四萬九百石 八月限 七萬六千石 九月限 二萬二千七百五十石

北濱たより

四日後場 前川ミ比夢

一二二三 一二二三 一二三〇 一二四〇

▲順次落と指定洛

小口落しの禁止に伴ふて取引所の營業細則をも改正せねばならぬのであるが取引所は命へ指定落ちに由る時の市場の紛擾を惹起するの虞ありとて順次落しが決定に至れり

大阪期米暴落

▲第五節 先十錢より〇九錢と返し〇九錢引

錢と返しの成行を示して殿合と買物多く十三

止間題 當中限の停

又一つには當中限の大阪の大暴落に依る不良問題の如何に依りては當市場にも安直に及ぶ

七十八錢と迄遂に一圓前場の如き大阪との繫は大阪より昨日よりは內地の氣配好況を呈し殊に朝鮮では安き米

前日の安値下廻 十九節八十四錢

牽制的買支へに人氣強硬を報じ

大阪九節三圓八十四錢と新安直を報じた

賣埒合說

株式が低き位地にある際に其の賣埒合を餘りに多くする事は其の平均を失ふ爲め賣埒が出來ぬかも知れぬ

仁川米豆取引所仲買人 田中金兵衛商店 仁川海岸町三丁目 電話長五九番

仁川米豆取引所仲買人 丸 仲買店 仁川海岸町三丁目 電話長四〇四番

仁川米豆取引所仲買人 ナ 仲買店 仁川海岸町三丁目 電話長九〇五番

白米小賣値

一等白米 二十八錢五厘
二等白米 二十八錢

白米標準値

二十七圓六十錢

仁川期米

七錢二節〆七錢八錢七錢三節〆九錢二十錢三節〆九

下值 二十二圓 二十二圓 二十二圓 二十二圓

五日後場

大阪商況末著にて先延期に付き

三時三十分頃全南栄山浦附近にて小船の沈沒船の爲めに遭難せし

一入港高麗丸上陸二等客

一等九名大村十代吉山藤樹杉山孝

寄加藤太郎大島ひさ子何美子同

天氣 曇り

五日午後六時 五日午前六時

日出	五時十八分
日入	七時五十八分
滿潮	午前三時四十四分 午後三時二十分

後場 ▲先限一節二十二圓〆五錢四錢五錢六錢七錢六錢七錢六錢五錢六錢
後場 二十一圓〆五錢 二十一圓十九錢 二十一圓〆四錢

◉婦人の溺死 三日午後…せしが三日より京畿道…

◉聯絡船上旅客 四日…

生出大癡畫伯寫生

金剛山作品展覧會

七月六、七、八の三日間京城ホテルに於て生出大癡畫伯の金剛山探勝作品展覧會を開催す六日(土曜日)午後一時より特に同好各位の内覧を仰ぎ七、八兩日は午前九時開催午後六時迄は一般に公開と決定し寫生畫數は三百點而して大癡畫伯は南畫を宗とし傍ら故小山正太郎先生に就き洋畫を研究したる老大家なり

後援 京城日報社

◉結局は連山灣に運炭
◆撫順と伯仲の新炭坑◆

目下滿鐵技師の手に依りて調査進行中の新丘炭坑は其の炭質炭量に於て撫順に伯仲すべき程の價値を有するものなるが唯だ困難とする所は運炭線路問題にて若し同地より僅に百哩を隔つる連山灣に鐵道を布設するを得ば之れに優る良線なかるべきも連山灣直港の實現を夢想しつゝある支那政府が之れを承認すべきやは一寸問題なるべし
◆或は京奉線を横斷し◆
◆滿鐵と聯絡する新線◆
を敷設すべしとの說あり此の場合に於ては遼陽附近にて滿鐵と接續せしむる計畫なるも右計畫によれば遼河及び太子河を渡るの困難ありて其實行は容易に非ずとなし
◆或は京奉鐵道を利用◆
聯絡して奉天に出づべしとの說もあり此の二者は實行するに困難とせざるも現在以上に滿鐵本線に負荷を課するは沿線及び大連港の滯貨を愈々增加せしむる所以なれば最も上策は連山灣に運炭線を新設するに若くなかるべしと(奉天)

◉慶北共進會

今秋大邱に開かるべき

▲多木肥料店 兵庫縣多木肥料店主多木粂次郎氏は過般視察の爲め大邱に來りたるが共進會出品地を視察したる上十坪乃至十五坪の特設館設置の申込みを爲したり

▲ねじ家 大阪ライオン其他小店ねじ家よりも參考品其他出品の申込あり

▲パイン萬年筆 京城旭町パイン萬年筆製作所よりも特設館を設置し萬年筆製作の工程及び既製品の出陳を申込めり

▲東洋物産會社 よりは朝鮮原料地に製品の出陳を申込み來れりと

▲朝鮮美術協會 宇佐美長官を會頭に、金谷齋尹、上田伊三郎、小宮氏等を幹事とせる東洋講家より成る朝鮮美術協會よりも多數畫家の作品並に參考品として山縣政務總監、美濃部氏其他名家の作品等二百點の出品希望に付會場の提供方申込ありたるを以て共進會にては大邱協贊會とも協議の上成るべく希望を充す考へなりと(大邱)

◉安東の商人は寄ると障ると
◆滯貨問題で困てゐる◆

安東縣では昨年以來滯貨又滯貨で商人の困り方は一通りでない、特產物商や木材商など持寄ると斷はると直ぐに滯貨問題の事で持切つてゐる程一般商人の頭には滯貨が切り込まれてゐる、處で幾に鮮滿直通列車が廢止になると共に滿洲朝鮮線は滯貨が一掃される樣に期待し又當局でも大に輸送力が增加すると云つたのであるが今日となつて見ると左程に目立つ程滯貨が減少した樣でもない、處へ今度朝鮮に必要な石炭の汽車輸送をする事となり新安東驛には大月中に大々的貯炭場が設置された其の
◆◆汽車送りとする理由◆◆
は、朝鮮へ安價な石炭を供給すると云ふのであつて船輸送と汽車輸送との差は一噸の差が約七圓だと云ふ事である、即ち大連から船輸送にすると目下船腹不足の爲めによりも以上の負擔をなし且つ朝鮮の需要者に高價な石炭を供給する結果になるから滿鐵其の者の利益と朝鮮側の利益とを云ふのを天秤にかけて汽車送りと云ふ事になつた而して此の頃
◆◆朝鮮鐵道で使用する◆◆
◆◆石炭の數量はドノ位◆◆
必要かと云ふと常に約二十一車を必要とするそして他に又二十一車を必要とする、萬一都合二十二車の石炭が欠けると汽車が何處かで動かなくなるか電氣が點かなくなるか其の他の石炭を動力の根元とする機關や機械が動かなくなるのだ相だ、それで其の何れをも休ませる譯に行かないからと云ふので汽車送りにした、そして貨車排底の理由で一三日に云ふと
◆◆『無い袖は振れない』◆◆
いふ事になるのであるが、併し安東は之れが爲めに大なる迷惑を蒙つてゐるのであるから何とかして現在の滯貨を一掃して貰はなければならぬと安東の商人は前記の如く何れも頭を惱ましてゐる

◉仁川の第二小學校新築入札

仁川第二小學校建築敷地は過日來其の地均し工事を急ぎ既に大半を終れるが愈々之が建築に着手すべく來る十日午前十時仁川府廳に於て工事請負入札に附すべしと請負資格は仁川朝鮮各組合區域内に居住する一個年以上の納稅者にして五十圓以上の納稅する者に限るべし工事は校舍木造二階建二百三十五坪平屋建二百三十坪其他木造平屋建附屬家二十四坪四合五勺渡り廊下及び便所等十九坪使所二十八坪等にして合計三百八坪餘の建築なり而して之等は請負者決定次第直ちに工事に着手する事とし遲くも本年中に其の大體の工事を終り明春三月迄には必ず全部完成の豫定を以て着々進捗を計るべしと

◉大邱中學請願

大邱中學校期成同盟會にては戰線の中學設置請願書を增田幹事携帶して五日京城に到り總督府へ提出したり尚ほ幾に發起人に一任したる同會々長は其後小倉良則氏を選任したり(大邱)

◉過激派益々衰ふ
チエツク軍日に優勢

カインスクを發し哈爾賓に到着したる米國人一行の語る處によるとトムスク、オムスク、クラスノヤルスクの政權は屢報せるが如く、チエツク軍の援助により西伯利自治政府の手に歸しつゝあるがイルクツクに於ける過激派は極力チエツク軍に抵抗を試み、右米人一行のイルクツク通過の際も兩軍の戰鬪開始されチエツク軍の方優勢なりしが過激派はダウリヤ及びグロデコウオ戰線より多數の軍隊を應援として西伯利に出動させ居れりと尚ほ同一行の語る處によるに目下西伯利在住民は甚だしき食糧の缺乏と何時騷擾の來る可しとも知れざる無秩序狀態の爲め非常なる困難の狀態にありと(哈爾賓)

◉慶北陸棉補助金 慶北道廳にては今日まで安東外七郡の棉作組合に對し陸地棉種子購入補助金を下附したるが其内譯は安東(四千二百四十八圓)尙州(三十三圓)清道(五百十六圓)義城(三千八百七十圓)高靈(四百十三圓)善山(千七百十四圓)軍威(七百五十六圓)なりといふ(大邱)

◉臺灣の生徒團 臺灣總督府中學校の職員生徒及び小學校の職員等八日午後三時四十分開城より來壤九日滯在十日午前四時二十七分にて滿洲に赴く(平壤)

◉朝鮮燐寸會社 仁川の朝鮮燐寸株式會社松林里工場は過般上棟式を舉げ本月末までには事務所の移轉を行ひ製造を始むる由(仁川)

◉此分ならば砂糖の製造も
案外好結果なるべし
兩道の甜菜試作と成績

平南黃海兩道に於て砂糖の原料たるべき甜菜を大規模に耕作せんとの事は屢報の如くなるが黃海道黃州方面に於ては試作甜菜に害蟲發生の爲め一部枯死せし箇所あるも其他は概して良好の成績を告げ居れり今年平南道種苗場に於ける作況成績を聞くに同種苗場に於いては四月二十二日より五月八日までに播種を終了し其發芽も五月三日より同二十日頃までなるが其間旱魃のため發芽一般に遲延せしが下種したるもの及び覆土其の宜敷を得て地下に施せる種子の位置良好と相俟つて頗る發育好成績を收め夏至當日の如き各圃の平均本葉十枚乃至十二三枚を生じ發丈五寸三分根長四寸五分根冠部の大さは小指大となり而して發芽當時立枯病の發生せしも目下全く終熄に歸せり然れども甜菜の病害として最も恐るべき褐斑病蛇目病菌核病等は何れも六月上旬以降に於て發生したれど未だ蔓延に至らず極力之が驅除に努めつゝある結果現時殆んど終熄を告げ成績概して良好也(平壤)

◉釜山鎭水害
◆浸水家屋と焚き出し◆

去る三日拂曉よりの豪雨の爲釜山鎭鐵道沿線の鮮人家屋二十戶浸水し其内五戶温突内に浸水したるが之れが爲め被害者は共同炊事を爲し焚出しを爲す等一時騷擾を極めたり(釜山)

◉降雨と流筏
◆上流の增水一丈一尺◆

鴨綠江本流上流地方は雨量案外多く增水一丈一尺餘に及び山方の伐採材の搬出に多大の便宜を與へ殆んど全部を本流まで搬出し得し樣にて此の分ならば本年の流筏數量は豫想五千臺を超ゆる一千臺計六千臺內外の多數を算するに至るべき見込なるが該降雨も下流方面及び渾江流域は比較的少量なりし爲め概ね公司直營材五六枚の漂流を見しのみにて其の他には餘り漂流材を見ざりしと因に渾江流域の流筏も梅雨季に入り相當の降雨あらば是れ又順調なる流筏を見るべく目下の處既に二千七百臺の流筏を見居れり(安東縣)

◉賣れるか賣れないか
問題の外國米豫想
樣々の缺點―炊て殖ゑること

外米の朝鮮移入は愈々本月下旬頃迄には移入決行を見るべき運びとなつた之れに因つて鮮米を內地に移出するの餘力を與へ以て內地に於ける產米の不足を補ふの策を執るのは頗る時宜に適した方法であるが鮮米の聲價發揚から云つても誠に喜ぶべき事と云はねばならぬ外米が朝鮮に移入せられて果して相當の需要があるか否やは其の人々に依て意見を異にし或は鮮人の
◆嗜好に適せずと謂ひ◆
◆或は鮮人小農に需要◆
あるべしとも云ひ何れが事實に適中してゐるかは今遽に斷ずる事は出來ぬ何れにしても格安の外米が輸入せられて幾分にても需要を喚起しそれだけ鮮米の移出餘力を見出だす事が出來たら所謂安い米を食つて高い米を移出すると云ふ地方的
◆經濟の原理に叶つた◆
ものと云はねばならぬ朝鮮では外米の需要は甚だ尠いと云ふ者の理由を聞くと朝鮮に在住する內地人は所謂植民地的の氣風があつて假令生活に窮しても外米等は喰はぬと云ふ連中許りである殊に比較的官吏其他の
◆月給取りに生活難の聲◆
が高くつて下層勞働者の職工連等に取ては此の上も無い當り年で外米を喰はねばならぬ程の不景氣な者は無い、さりとて官吏其他の月給取の家庭に臭い米を食ふ樣な者は先づ尠いと、然らば其の需要者とする處は
◆全部朝鮮人ばかりで◆
あるが此の鮮人たるや元來米の代りに粟を喰ふ事に習慣的の嗜好を持つてゐる、而して朝鮮には格安なる滿洲粟の輸入があり此の外米の補充に混入する小豆等も却々餘程容易であるが爲め外米の賣行きは思はしくあるまいとする者の
◆喰ひ馴れぬ外米よりも◆
賣れ行きが良好なるべしと豫想せられてゐる、然し乍ら他面に必ず說にも有力なる理由がある即ち社會は好景氣、職工は引つ張り凧の世の中と云つても內地と朝鮮は尚ほ工業發達の程度に於ても逕庭があり勞働者にも自から相違がある而して今日の所相當の
◆需要あるのみならず◆
鮮人農夫の生活狀態は寧ろ米質の如何を問ふよりも量の多からん事を希望し價格の低廉ならん事を要求する今日一度外米を試食すれば必ず其の經濟的なるに見て乾度一般の
◆大なる歡迎を受くる◆
に相違ない殊に暹羅米西貢米の如き赤道直下を通つて來る米は其の乾燥の點に就て他に類ひないだけ釜殖ゑのする事夥だしく普通一升に就て炊き上げ六百匁位に對し優に暹西米は
◆九百匁ぐらゐに殖ゑる◆
之等は地方鮮農の最も歡迎する處であらうと之で成る程賣れ行は存外に好いかも知れぬ而して今回の外米の輸入量は幾何であるか正確な事は勿論不明であるが先づ最初に
◆最初五百噸を積み出す◆
豫定で更に二回三回と實行の如何に依つて引續き輸入を見る筈であるが外米が到着すれば仁川に於ける正米の相場は亦幾分影響を受けて異動は免れぬだらうと觀測されてゐる(仁川)

◎夏の潮時

雨が霽らへと愈々夏の海が戀ひしくなる釣に海水浴に或ひは汐干狩に海の潮時は最も必要とせらる、夏の海の沖釣には所謂潮の變り目と云ふ時合が最もよく海水浴は滿潮時でなければ面白くない岸の沙魚釣りも滿潮に好く、沖の汐干は勿論最干潮で無ければならぬ今日から仁川に於ける潮の滿干の時刻を就て四五日分宛を掲載して以て海に遊ばんとする者の參考に資します(仁川)

	(高潮)		(干潮)	
六日	前 三、二四	後 三、五三	前 九、三〇	後 一〇、〇〇
七日	前 四、一四	後 四、三五	前 一〇、三〇	後 一〇、五〇
八日	前 四、五七	後 五、一八	後 [illegible]	後 [illegible]
九日(日)	前 五、三七	後 五・五六	後 [illegible]	夜 十一時

◉忠南鮮人側 生徒聯合運動會
◆今秋鳥致院にて行ふ◆

滿般忠南論山に於て開かれたる普通學校長會議に於て忠南普通學校生徒聯合運動會を來る十月を期し交通の便よき鳥致院に於て開催すべき事に決定したり(鳥致院)

◉平壤の講演會
◇小崎弘道、山口金作兩氏◇

今回宗教界の耆宿小崎弘道氏及び日本組合理事山口金作氏の平壤に來れるを機とし平壤基督教會は於て左記の通り特別集會を催すこと事なり小崎氏は日本日曜學校協會(基督教聯合宗教々育團體)會長並に日本基督教會同盟會(基督教聯合團體)會長にして日本組合教會の理事をも兼ね曾ては故新島襄氏の歿後同志社大學總長たりし事もあり人なり

▲講演會(七月七日午後八時半より)小崎氏 文明と宗教 山口氏

▲講演會 七月八日午後一時 基督教の人生觀(小崎氏)個人生活と宗教(山口氏)

▲宗教懇話會(七月八日午後八時半より)會合は小崎、山口の兩氏に於ける宗教上の意見を交換すべき頗る有益なる試みなりと當夜は會費(茶菓)十錢を要すと(平壤)

◉仁川悲田院補助金 仁川佛教婦人會の經營する行旅病人悲田院は維持費として一箇年五百圓及び地方費補助として三百圓の下附あることなり居れるが去る廿九日附を以て維持費半期分二百五十圓及び地方費補助半期分百五十圓何れも理事長宮本六雄氏宛に下附せられたり(仁川)

◉大田と在郷軍人 大田郡內の在郷軍人にして簡閱點呼參會出願許可數八十三名、勤務演習召集願許可者四十八名なりと(大田)

◉仁川穀物在庫數 六月三十日現在仁川穀物在庫數量は玄米四斗入八萬八千九百九叺五斗入一萬三千七百九十叺白米五斗入一千百九十九叺三斗入二千五百八十七叺二斗入十二叺大豆四斗入九千七百六叺五斗入四百二十二叺小豆九百十八叺小豆七百四十四叺同俵入三百五十叺粟六百七十四大麥八百七十九叺同俵入五百十八俵籾一千三百七十俵粉米一千四百二十二叺粟二百二十八叺袋入一千七百六十個胡麻六十叺秦九十三叺俵入百三十五個綿麥百九十七糯米二百七十一叺なり(仁川)

◉兼二浦と大相撲前景氣
◆鑛夫連總出の出迎へ◆ 黃海南道各地より見物

兼二浦に於ける東京大角力の乘込は十一日に延期となりたる結果愈々兼二浦の興行は十二日の豫定にて先乘協會年寄藤島及び勸進元小川大吉、竹中吉之助、世話役西鮮大島京日橋本等の諸氏により準備をなしつゝあるが地方よりの觀覽客は遠く新幕、載寧、沙里院、新川近くは平壤、中和、黃州より多數來集すべく既に團體觀覽の申込みあり又久原製鍊所は當日汽船にて總員五十名の團體見物の申込あり又十一日の力士乘込みの際は兼二浦各料亭藝妓者六十餘名何れも揃の夏衣裳にて停車場に出迎ふべく勸進元小川、竹中兩氏は交際廣き事とて東京、大阪、九州及び京城、大田、釜山、仁川、平壤、鎭南浦、大連、青島等より幟の數百本の寄贈あり前景氣頗る盛んなり(兼二浦)

◉痲疹が原因で
幼兒の死亡者續々たり

四平街にては昨今幼兒の病死するもの頻發し爰に田中地方事務所主任の長女及び四鄭局石氏の長女其他に引續き稅務支署中野氏長男等續々病死せるが病症は多樣なるも總じて痲疹より餘病を併發して死亡するものなりといふ(四平街)

◉風雨と永宗島

去る五月廿八日午後以降數回に亙り強度の風雨襲來せるが之が爲め永宗島に於ける被害調査に依れば同島測止堤防の破壞せるもの二箇所七箇所八間餘に及び河川沿岸堤防の破壞五間餘人家全崩壞一戶半崩二戶あり此の外至る處に屋部に打擾を受けたる者一名あり浸水水田十町步餘山丘の崩壞せるもの八箇所に亙り船舶の被害は幸ひにして無かりしと(仁川)

◉奉天と朝鮮農產物 平壤に於て農事を經營し農產物の販賣を爲しつゝある株式會社平安攻玉園は今回奉天昭德大街に出張所を新設して販路を擴張すべしと因に奉天出張所は名稱を德喜洋行と命名し農產品海產品の貿易業及び委託販賣をもなすべく尙ほ同店は內地朝鮮米果物類は極めて廉價にて顧客の便利を圖り安價に提供すべし(奉天)

◉安東の琵琶會 二日夜八時安東公會堂に於て開催せる旭心、旭瀨兩氏の筑前琵琶會あり盛況なりし

◉兼二浦に常設館

兼二浦に於ては目下劇場として兼二浦座あるのみなるが今回某々有志間に於て東兼二浦里に建築總工費約一萬五千圓を投じ活動寫眞の常設館を建設すべしと(兼二浦)

◉職工三百名

三菱兼二浦製鐵所常傭職工三百餘名は三日午前四時著列車にて兼二浦に下車したり是等多數の職工は何れも今回新に建築せられたる兄弟洞社宅に入りたり(兼二浦)

◉濁流に浚はる

慶北達城郡花園面九羅洞李承德(二)は豪雨の爲め麥畑に濁流浸入し麥の押し流されんとしたるより濁水漲る畑に入り麥の刈取中途に溺死したるが因に同地に於ける被害は水田の浸水百町步畑の浸水百三十町步苗代の浸水二町步麻畑の浸水二町步なりと(大邱)

農信
麥は三四十年來の豐收=忠南地方=

◆麥(收穫) 本年は三月頃迄は雨量少きのみならず氣候の惡影響を受け作柄面白くなかりしに其後氣溫も高く雨量も多く漸順なりしより作況を盛返し五月末に至り大麥五十一萬千百石、小麥八萬六千餘石の收穫豫想を得近年稀なる豐作なり之を不作なりし前年實收高に比するに大麥に於て十一萬七千石小麥に於て一萬七千餘石の增收を得る譯にて地方によりては五十年又は三四十年來の豐作なりと稱へ居る者あり六月二十一日の降雨にて雨季に入りしと見ねたるも同二十四日頃以降は晴天打續き頗る好都合に收穫したり(公州)

◆稻(良好) 本年三月以降既に時に適量の降雨ありて苗代用水は不足を告ぐる所なく稻苗は順調に發育し六月二十日二十二三日、廿七八日の降雨にて挿秧水豐富となり各地共挿秧を急ぎつゝあり農家は本年の稻作も豐作なりとし歡喜の聲高し(公州)

金永福ハ小生ノ物ナルモ資性放蕩ニテ一厘ノ財產無之候間內外人ヲ問ハズ本人ト金錢上ノ關係アルモ小生ハ其責ニ任ジ不申候
忠南論山郡陽村面居士里 金斗鉉

水コシ
▲宮內省御買上之榮 ▲內務省衞生試驗所五博士證明 ▲勸業博覽會有功賞并謝狀受領 ▲專賣特許石コシ式水用
濾過器は濁水を清水と爲し黴菌を除き衞生上欠く可からざる寶器なり 御注文を乞ふ
本元 東京市 除菌濾過器製造所 電話小石川二六四二番 振替東京三七二六二番
各新聞で見る…申込說明書進呈す

龍山林藥房製劑の
マラリア特效丸
一番よくきく
定價表 四粒入金十錢 十四粒入金三十錢 二十五粒入金五十錢
ニセモノあり御注意
本舖 龍山元町二丁目 林藥房
代理店 京城本町 合資會社 岸天佑堂
同 釜山辨天町 山黑南海堂
同 平壤大和町 森田草樂堂支店

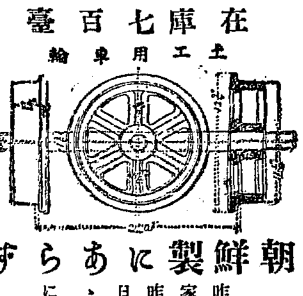
新式魔法瓶
△圓筒形 三合入金一圓九十錢 四合入金二圓三十錢 五合入金二圓…
△水筒形 三合入金弐圓三十錢 四合入金二圓六十錢
△送料 鮮內二十四錢 鮮外四十五錢
京城太平通 京城日報代理部 電話六〇九番 振替京城三〇〇番

金剛山行自動車運轉
七月五日より十月末日まで左の通自動車を運轉致候
月末寄數日ハ運轉セズ
偶數日 長安寺發平康驛行(溫井里發長安寺行)
奇數日 平康驛發溫井里行(長安寺發溫井里行)
○右自動車に連絡する汽車往復又は周遊探勝券を南大門、仁川、釜山、大邱、平康驛にて發賣す
○外金剛溫井里、內金剛長安寺に直營ホテルあり、設備清楚、料金低廉探勝客に各種便宜を圖る
南滿洲鐵道株式會社

有望株の選定
公債株式現物問屋 信託
朝鮮製紙 第一回決算を了し利益金壹萬四千餘圓を舉げ王子製紙の姉妹會社として事業開始と共に堅實なる配當豫想せられつゝあれば前途有望なる放資株と存し候(十二圓半拂込)時價十八圓五十錢
日本絹毛紡績 第二回決算を了し利益金拾參萬圓…業績の進行と共に益々有望なる放資株と存し候(十二圓半拂込)時價十八圓
京城永樂町二丁目 電話壹四九番
丸五商會 有田長

◎醫院開設
今般左記に開業仕り一般診療に從事す
京城明治町二丁目五十六番地(宇治屋茶舖横入)
眼科專門 入院隨意
萩原眼科醫院 電話二二六七番
院主 元山梨縣立病院眼科部長 萩原長藏

チドル製
在庫七百臺
土工用車輪



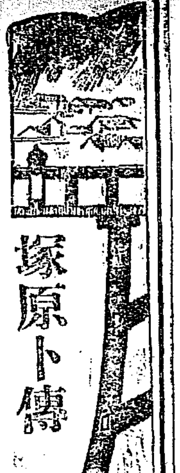
朝鮮製にあらず
昨年來內地專門家と契約中の處昨今續々入荷廿日毎に五十臺づゝ七百臺御注文に應ず
東京製鋼機株式會社 東京製絨株式會社 中根式鮮內用挽搗精米製作發賣元 ○虎印八角鋼朝鮮總代理店
京城南大門外 電話一〇〇五番 中根商會
京城岡崎町 電話一二六五番 中根工場

漢江遊船 共樂社
舊龍山元町四丁目(漢江行電車終點) 電話五二八番 社主 高山武盛

蠅退治(ST式固形石油乳劑)
ハイのウジとタマゴを殺し根を絕つて藥を枯らす根本的蠅の驅除劑
壹打 定價二拾八錢 郵稅四錢
總發賣元 熊平支店 電話長六二四番 振替京城二二二五番
大販賣元 京城日報代理部 電話本局一三〇〇番 振替京城三十八番

內科 眼科 小兒科
京城黃金町三丁目赤門通(電車停留所前)
本田醫院 院長 本田建義
附屬 京城肛門病痔疾療院
肛門病 入院隨意 痔疾特種注射根治療法解說書入用の方郵券十二錢要
電話二四四三番 振替京城三二八番

京釜線(南行)　同(北行)　京義線(北行)　同(南行)　京元線(北行)　同(南行)　湖南線　京仁線　[illegible]



塚原卜傳

第百二十七席　悟道軒圓玉口演

天野藤助が一本立ち合ふから來いこいはれて熊吉共れへ出たが、止せば止かつた、樣な者を打込んで悔まれては詰らない、こいつて打れるのも氣が利かない話だが何うかして旨く逃げようこ考へ、竹刀を持つて正面に對つた、藤助竹刀を中段に構へて　藤『宅内こは少し違ふから其積りで打込んで來い、遠慮に及ばぬから充分に打込め』こいはれて熊吉　熊『御免下さい』こいひ乍竹刀を振り上げて前に進んで來た藤助　藤『生意氣な奴だサア來い』こピタリこ構へる、ボーンこ打込んで來た熊吉の竹刀をガツキこ受け止め、ポンポンボーン二三合打合つたが熊吉は劍術は習つた事はないけれども我流で覺ゑて天野や石川より達者だ、第一力量勝れて居るから打下して來る竹刀は鍔を生じて仲々藤助如き者に受け切れない、段々攻め立られて藤助眞赤になり、油汗を流して後へ々々こ退がる、モウ宜い頃だこ思つて熊吉飛退がつてポンこ竹刀を投出し　熊『參つた、恐れ入りました天野先生の御技倆は大したものでございますな』藤助對手が退がつたのでホツこ息を吐いて　藤『イヤ四郎吉貴樣仲々やるな、その鹽梅では二三年ミツシリやつたら大したものになる、之れから毎日來なさい、拙者が敎へて遣はすから』熊『有難う存じます』藤『仲々貴樣筋が宜い』熊吉笑つて其日は歸る、翌日から此處へ來るこ相變らず大勢寄集まつてポンポン擊劍を遣つて居る、熊吉が行くこ天野石川が　天『ヤア四郎吉來たか』熊『へエ劍術は大好きでございますから拜見に參りました　天『サア一本稽へて遣はさう』迷惑だが熊吉仕方がないから竹刀を持つてポカポカ遣る、五十日行く中に大勢の若侍や仲間共こ懇意になつた、三度に一度は　熊『有難う存じます御蔭さまで劍術を覺ゑまして氣丈夫でございます、之れは皆さんで一口上つて下さいまし』こいつて何程かの金子を包んで出したり何かするから若侍も　若『イヤ四郎吉は面白い奴だ』仲間共は小松屋は面白い氣性だこいに氣の諦だ』こいつて禮をいふ、之れから心易く、熊吉も部屋へ遊びに行き、まづ城内の樣子も一通りは分りました、併し羿正左衞門用心嚴重にして仲々外出はしない、外出したこて大勢の家來を率ゐて行くから仲々近寄れない、から熊吉も何うにかして城内に足を止めてゐて、羿正の動靜を窺ひたいものこ苦心して居りましたが茲に一つの機會が出來たこいふのは或日の事、相變らず熊吉荷を背負つて城内へ入り、一廻りして大部屋へ來るこ車座になつて仲間共が話をしてゐる、熊吉が　熊『ヘエ皆さん今日は』○『オ、小松屋か、今日は遲かつたな』熊『ヘエ井上樣こ山崎樣で少し手間取りまして、それから太田樣へ參りました處が太田樣のお嬢樣が私に思召があるもんでございますから仲々歸しませんので困り切りました』○『アハヽヽ、相變らず四郎公戯談をいふぜ、お前の面で女が出來たらお目にアラ下らア』熊『喜六さんさう下ろすものぢやアございませんよ古い唄ぢやアないか顏なや迷はぬ心意氣こいふ奴でさア』喜『ウフ・何ぢや恐らしいか氣が知れねエ、併し手前はいつも氣で宜い此方等ア大變りよ』熊『何か出來たのでげすか』喜『お前は知るめエが今度殿樣が山狩をなさるんだ』熊『へエ山狩、山狩りこいふこ矢張り富士の牧狩りのやうなもので……』喜『さうよ、今度は大仕掛けで牧狩りをするんだが場所は筑波の裏山だ、人も通はねエ難所だから雜兵に使はれる此方等は災難だ』熊『成程しかし面白うございませう』喜『些こも面白い事はねエ毎日之れから謝ゑをさせられるんだ』熊『へエー牧狩の稽古でございますか』喜『さうよ』

浦項より　佐々木生

慶州では郡廳及び警察署より種々便宜を與へられた事を附加へて置く、愈くれば二十九日午前十時慶州を立つて安康を通過して興海に着し、玉山書院の東壁、玉山書院に到り洗心臺に憩ひて、關欣を愛し廟堂、嘉靖、禁遵碑を觀る、十一時卅發見渡す限りの安康平野を快奔の船場迄逆戻りして浦項に着いたのは正午であつた、午餐の後各官衙を訪問する筈であつたが土曜日だ、それでも逓信分隊を訪問したら分隊長には未だ執務中であつた、敬意を表して辭せんこしたが分隊長自ら東道で市内を視察するこなり悶ち先づ川口に自動車を馳せ夫れより順次見物をして宿に戻つた、聞けば今晩(二十九日)命木邊北島長官が鬱陵島視察を終へて玆迄歸來一泊この事で官民有志は出迎ひの爲め忙しさうであつた處が翌朝起きて聞いたら朝二時過ぎに上陸したこの事である。早速同宿の長官に敬意を表し旅情を慰めた、長官から鬱陵島の視察談を拜承したが之れは稿を更める事こする、長官は午後の自動車で歸邱する筈で其間視察中の佳作(鬱陵島巡視中逢風雨)の詩を扇子に揮毫して貰つた、午餐を濟ましてから憲兵分隊のランチで港灣を視察する事になつて居る。

書畫用 絖畫絹　京染呉服商 たまや出張店　京城永樂町二丁目 電話二一九六

七月七日九星　舊五月廿九日乙卯　本命三碧東納先負

▲三碧 惡を善こ見る事有日注意新事見合 坤の方は吉 [illegible]

演藝案内

京城壽町 電話五七八 壽座
[illegible]

有樂館　早川演藝部直營 活動寫眞常設館
◎諷刺喜劇『自動車成金』全五卷 [illegible]

浪花館　明治町二丁目 電話二六〇番
[illegible]

大正館　櫻井町 電話八七三
七月五日より名譽特別大興行 [illegible]
◎世界最大戰爭劇『國難』 [illegible]

壽館　京城本町 電話一〇五〇
▲現代自然の滑稽劇 [illegible]

黄金館　電話二二六三 二二六六
[illegible]

なまづアザ そばかす ホクロ 一袋五十錢
東京市本鄕區元町平澤藥院製　月やく [illegible]

[illegible]　森田屋

新荷着 パインビジネスペン 金ペン付 定價壹圓九拾五錢　京城日報代理部

懷中時計　ニツケル側懷中時計(▲印はラヂユーム入) [illegible]　腕卷時計(▲印はラヂユーム付) [illegible]
イングレツソレー商會　本店京城本町二丁目 電九七二

阿波紡織株式會社株式募集

▼阿波紡織株は有利にして堅實なる放資株▲

我國の紡織業は [illegible]

▼本社の特色 [illegible]
▼萬坪 [illegible]
▼本社の利便 [illegible]
▼鐘淵紡績會社 [illegible]
▼由來德島縣 [illegible]
▼紡織機械は [illegible]

阿波紡織株式會社創立發起人一同

募集要項

一資本總額　金參百萬圓(此株數六萬株)
一募集株數　壹萬株(壹株金五拾圓)
一申込株價格　額面以上(單位ヲ拾錢トス)
一第一回拂込金　金拾貳圓五拾錢(第一回拂込金拾貳圓五拾錢ニ併算ス)
一申込證據金
一申込株數單位　拾株以上トス
一申込期限　大正七年七月拾三日ヨリ七月廿五日迄(但往十期日前ト雖申込ヲ受ク満株ニ越シタル時ハ直ニ〆切ル)
一額面超過金拂込期日　大正七年八月拾日
一募入決定方法　申込價格ノ最高ヨリ順次募入シ同一價格ノモノハ發起人ニ於テ決定ス

定款目論見書及申込用紙は左記取扱所並に創立事務所に備置候

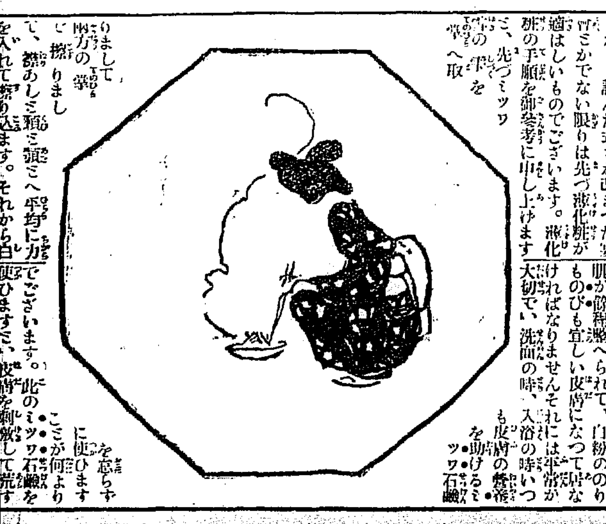
發起人及贊成人(イロハ順 ○印ハ發起人)

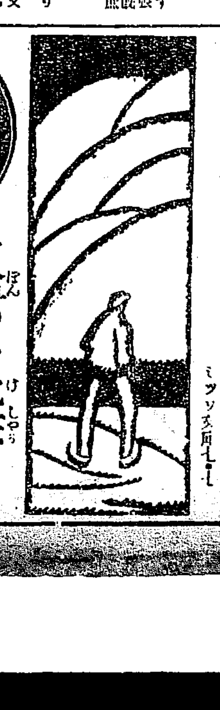
[illegible]

株式申込取扱所

[illegible]

大阪市東區今橋三丁目九番地
阿波紡織株式會社創立事務所
電話本局二九三番





お盆のお化粧

お盆に多い家庭同志の往來　夏のここゆゑ涼しいお化粧

中村雁治郎談

お盆は元を正しますこ陰暦の七月十五日に行はれる佛事でございますが、今では陰暦こ云ふものが廢されたので、此の七月に行はれますので、此の七月がお盆の月こ云ふこごになりまして、お盆に因のありますお迎へ火、聖靈祭、精靈送りなごすべて此の月に行はれる事になつて居ります。お盆の間は、盆こ正月なごこ並べて申します樣に、全國に渡つて、家庭同志の往來も盛ですし、服裝も不斷こは一枚著換へるこ云ふ風ですから從ひまして、お化粧も多少改まるこ云ふ譯でございます。改まるこ申しました處が、暑い夏のここですから、謹んだ式こか改まつた姿こかでない限りは先づ液化粧が適はしいものでございます。液化粧の手順を御參考に申し上げますこ、先づミツワ石鹸を手の掌へ取りまして兩方の掌で擦りましてあしこ額こ頸こへ平均に力を入れて擦り込みます。それから白色水白粉を鬢に垂して、襟へは二重に塗込み、顏へは之よりは薄く塗り込みます。初めは叩くやうにつけ、撫で伸ばしながら、手加減で斑なく乾かします。次に叩き刷毛を用ゐまして顏全體の白粉を叩いて落ちつかせ、斑になつて居ります處は、刷毛を少し濕らせて刷き伸ばしながら補ひますこ地肌からの色合に見ねます。美しい化粧が長く保つ樣になります。それから乾いた手拭を指先へ卷きつけ生際、眉毛、睫毛、鼻の穴、唇なごに殘つて居ります白粉を丁寧に拭き落し、堅く搾つた手拭の端へ紅を少し附けて、睫毛を拭き、最後に口紅をさしまして化粧を終ります。

▲林長三郎日く　夏になりますこ水白粉を一わたり塗るこ云ふこごだけで、地肌から美しい樣な色合に見せやうこ云ふのですから、此の地にはひまで涼しい芳香あつ苦しいにはひはつまりこしますが、髮の毛の紫臭い、蒸す樣な臭なそは堪しいやなものでございます。ミツワ月の香はお白しい芳香でお…ミツワ月の雫が髮にふりまして、刷毛で擦りますこ髮が涼しい芳香になりまして、頭脂が除れ、頭の地に凉しさがひろがります。

肌が除程整へられて、白粉ののりものびも宜しい皮膚になつて居なければなりませんそれには平常から大切でい洗面の時、入浴の時いつも皮膚の營養を助けるミツワ石鹸を使ひます。ここが何よりミツワ石鹸を忘らず使ひますここが何より大切で

此のミツワ石鹸は皮膚を刺戟して荒すやうなこはなく、汚垢を落し、皮膚の營養を助けますから、皮膚は繊細になります上に、生々こした色澤になつて、白粉ののりものびも宜しい皮膚になります。

發賣元 化粧品 ミツワ石鹸 東京橋町丸見屋商店

醫學士小山田議編 家庭治療法　四六版三百頁
本書は日常罹り易き疾病の原因症狀等を平易に說き、家庭に於て施し得る治療法を丁寧に敎へ、醫師にかゝるまでの親切な相談相手こなるものである。定價金五十錢。但其半額(郵券代用不苦)を添へ御申込あれば一冊送呈す。東京日本橋區通町丸見屋商店(振替東京七一〇番)

京城日報

第五版

仁川米豆取引

露國市場の將來と諸問題（五）

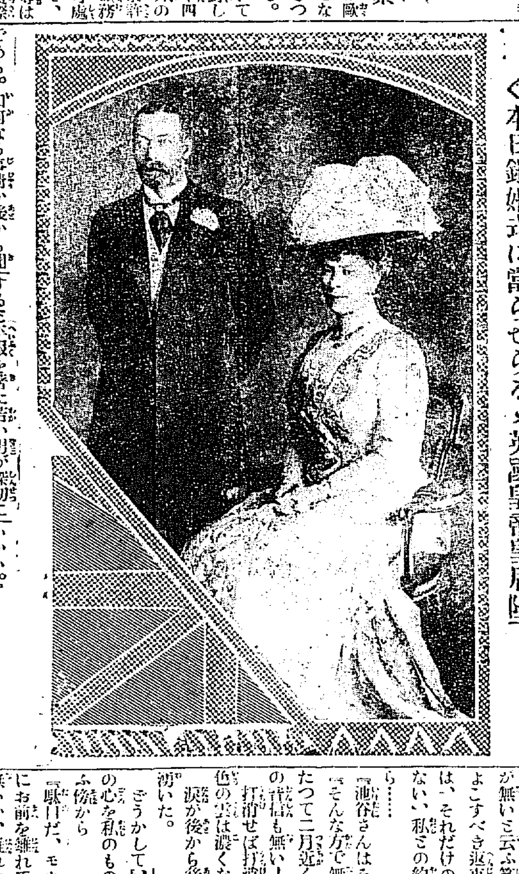
米露貿易の現在及び將來（五）
米國より露國へ輸入

……の上に多少の差異を存するの事情は概きに述べし所なるが、獨り全額のみならず貿易貨物の各品目につきても亦同樣幾多の懸隔を生ずるの止むなきに至れり。米國の對露輸出品中第一位を占むるものは棉花なり。棉花の貿易額に付きて米露統計間に差異の存する事は上述せる如し。即ち一九一〇年の統計に由れば前者に由れば三千八百八十九萬封度にして、後者に由る時は一億六千四百九十五萬封度なり。而して露國の統計こ雖も亦必ずしも正確に非ざること勿論なり。次に重要なるは機械其他の工藝品なりこす。就中農耕器具は最も重要にして其大部分を占めたり。即ち一九〇一—一九〇五年の間に於ける機械類の貿易平均年額は三百三十三萬弗にして其中二百七十三萬弗は農耕器具なり。一九〇六—一九一〇年の期間に於ても同樣機械類の總貿易額四百九十四萬弗中四百三十萬弗は農耕器具なりこ云ふ。農耕器具に就いて注意すべきは其貿易額に關する數字が却つて米國側に於て高き事なり。例へば一九〇一—一九〇五年に於ける貿易平均額は露國統計の示す所二百七十三萬弗に對して米國側却つて三百萬弗なり。一九〇六—一九一〇年に於ける之に相當する數字は前者四百四十三萬弗にして後者は五百十七萬弗なりこす。一九一三年に於ては前者四百七十萬弗後者五百三十一萬弗なるを以て前者高低し。抑も露國の關稅評價は米國輸出港に於ける相場に加ふるに、保險料、補損料、運賃を以てするのみならず、往々西歐諸國の仲介に由る手數料をも加算することあるべきを以て、米國貿易統計の示す數字よりも幾分高きを以て普通なりこなすべきなり。然るに事此處に出でずして却つて反對の現象を呈せるは何ぞや、露國大藏大臣の說明は此點に於ける疑問を釋明して餘す所なし。曰く『米國貨物の大部は獨、英、丁諸國を經て輸入せらるゝを以て露國の統計に於ては米國品こして記載せられず』こ。對露輸出品中第三位を占むる銅についても同樣の事情を目擊することを得べし。一九〇一—一九一〇年に於ける銅の貿易平均年額は米國統計の示す所千八百五十二萬封度なるに反して露國の夫は八百八十八萬封度なり。前者は正に後者の二倍以上に達せり。露國大藏大臣の報告に由れば『露國は獨逸及英國の手を經て米國の銅を輸入せ……』……傾向の……顯著なる現象は露國に輸入せらるゝ穀物に就て見るを得べし。露國統計に由れば一九〇六—一九一〇年に於ける各種の穀粉總額（馬鈴薯粉をも含む）の貿易平均年額は千五百七十萬封度なるに反して米國統計の指示する所は小麥粉のみにても既に七千五百八十一萬封度に達せり。穀粉は多く獨逸を經由して芬蘭に輸入せらるゝを以て概ね獨逸品こして取扱を受くるものにして此事情は一再ならず獨逸當局の報告中に於て見ることを得たり

時局ご鑛業界の契約問題（一）

吉武繁

▲時局の影響　朝鮮の鑛業界が歐洲大戰亂の影響を受けて隆盛こなり、近時長足の進步發展をなしつゝある事は明かなることである。例へば各種鑛種の新出願件數について見るに大正四年度の八百餘に對し大正五年度は三千餘件大正六年四千餘件、現在毎月三四百件內外の新出願がある。目下調査中の未許可が八千餘件もあるこの事、鑛務課も新願調査及之に對する許可處分に忙殺されて居るこの事で、數十人調査員增加されるこの噂は去る二月頃聞き及んで居る。實際戰亂の影響で戰爭前より重石や黑鉛は倍額以上、最も噴傳せられて居る鐵の如きは殆ご四倍の價額に賣れる、其需要は無限こいふ次第の出來るものは一日でも早く許可して、鑛業家採鑛の利益を計る樣にするのが鑛務課に對する出願者の熱望である。兎に角特殊鑛物の新願に對しては時機を逸せず、敏速に許可し採鑛せしむるが鑛業家其人に取りて利益であるこ共に、國家の利益こ思ふのである。併し夫れこいつても何も鑛業家なるものが所謂無籍こ不見轉式に出願し、種々の弊害を流すこ共に異質の鑛の種子こなる詐欺的行爲に出で、徒らに鑛務課を煩はし色々に手品業家の活動發展の餘地を縮める樣で、實際鑛業界に取り寒心に堪へざる事がある。所謂先願權の優先權を振り廻し、何等資力なく智識經驗もなく、出願權の賣買に走り廻り、今に總督府から許可の指令は來らずや、登錄稅の爲め……喜ばざるものが隨分あるさうである。實際今日新發見物に……談こ申すか滑稽奇怪こ……り樣に依れば隨分刑事問題……に伏在して居る事を見聞……探鑛家が咸北茂山郡探鑛中二三里四方何處に行つても磁石がピタリこ止まり動かず、是れは慥に此地下に一大鐵鑛區があるこ大喜びで、京城の或鑛業家に出願方を交涉した處、其鑛業家も中々豪膽者で、早速五萬分の地圖に依り三十餘鑛區を一時に所謂不見轉出願をなした愈々實地調査こなり鑛務課からも立會つて見るも三十餘鑛區何處にも何等鐵氣もなく、只啞こ言許りで一同呆然自失したこの事である。如何なる事情か後から聞けば探鑛家の持つてゐた磁石が毀れてゐたこの話、否夫れは或一種の詐欺こして告訴云々の問題こなつたが、併し是れは不見轉の天罰で、是れを發表すれば自分の愚を暴露する位で遂に泣き寢入した實際致し方はないのである。熱した點は感心であるが狂した點は一笑に過ぎない。最う一つ奇怪な事實がある。或鑛業家が或探鑛家こ契約し、探鑛家が探鑛した鑛區は悉く其鑛業家に提供するここゝなし、數鑛區提出したる後、自分の探鑛したるものでなく、或一鑛區を他より買受け自分名義にて出願して居た處、其鑛業家は鑛務課で閲覽するこ、其探鑛家の名義で出願してあるから、大に驚き、鑛業家の費用を以て探鑛し、探鑛家名義で出願するは不都合である、尚又上等の鑛區を竊に自分名義で出願したものであるこ信じ、鑛業權名義書替の爲め訴訟を提起し、一方には多額の保證金を供託して假處分をなした處が、探鑛家は其鑛業家が多額の保證金を積み、是れを取らんこ訴訟を起すものなれば、必ず有望の鑛區ならん、如何で引渡すべきかこ抗爭し、法廷で火花を散らして爭論したのである。そこで實地に臨み、價額鑑定こなれば殆ご無價値であつた、雙方共に呆然開いた口がふさがらないこいふ次第で、雙方より互に何分宜敷御引取りを願ふこ共に笑つて別れたこの事である。



◇本日銀婚式に當らせらるゝ英國皇帝皇后陛下

八角亭閑話

米國の非怜教育年會報に出て居る話であるが此程倫敦に在る米國陸軍部附の若い士官が町を歩いて居るうちに驟雨に會つて困つて居たするこ平服を着た若い男が深切にも傘の下に入るやう言をかけてくれたので、米國士官は喜んで其申出を受け、相合傘で數町歩いた其間若い人達のこことてぢきに心易くなり、士官は種々身の上話をしたが、不思議な事には、行き合ふ人が恭しく同行の若い男に目禮をするので『失禮ですが貴君は誰ですか』こ質したところ、其若い人答へて曰く『ナーニ私は皇太子なんです』▲耐忍こ根氣こがあれば如何なる事でも仕遂げる事が出來るこ或講演者が說いて居る最中、聽衆の一人が『出來ぬ事が一つあります、篩に水を入れることが出來ますか』こ邪魔を入れた。講演者は閉口するこ思ひの外答て曰く『出來ますこも』『如何して出來ます』『水の凍る迄根氣よく辛抱するのです』▲鴨綠江に筏を流す仕事はなかなか危險で、よほごの熟練を要するさうで、上流の暗礁の多い所では內地の急流で仕上げた筏夫でなければ如何にもやりきれぬこいふ事である。で、五月から十月頃迄流筏期間に代り彼等は高い給金を取るさうだ。▲新義州の營林廠では朝鮮人を筏夫こして訓練する事に久しく骨を折つて居るが、此頃は彼等も大分巧になつて來た。それでも彼等は下流の比較的安全な所でなくてはまだ仕事が出來ぬさうで、然も日本人なら一人でやる所を彼等であるこ二人を要するさうである、從つて彼等の所得は日本人の半分にしかならぬ▲然し支那人は猶劣つて日本人ならば一人朝鮮人ならば二人で流す筏に八人かゝるさうである

並行線（二十七）

瀧閑村

『お母様、私少し頭痛がしますからお先に寢ります』

『オヤそれは可けないね、顏色もよくない、風邪をひいたのぢや無いかい。』

『さうでも無いやうですが……一晚經つたら乾度治りますよ』

靜子はい、程に母の前を言ひ繕つて臥床に入つた。

『池谷さんはごうなつたのだらう』

此考へは色々な形で靜子を脅かした。眼を瞑るこ寛太郎の痩てこ眼に見ゆる。不病して居る人病床に横はつてゐる姿がありありもあるまい、御不便であらう、中を隔つる五百里の海山は二人の間を全く斷つた、——

フト先刻高山の云つた言葉が腦に蘇へつた。

『病氣ぢやア無い、內地で何か事業をしてゐるのだから迚も二度こ朝鮮へ歸る氣遣ひはない』こは餘りな中傷である。池谷さんが居られゝば高山は其下に伍かねばならないのに、池谷さんの不幸は高山に幸して、機械の方面を擔任するやうになり乍ら、池谷さんを恐れやうこするのは明らしく無い何たる卑劣な遣り方であらう。會社本位の父こしては、高山に頼る外は居ないこすれば、池谷さんが無いのだが、それを奇貨こして自分の昇進のみを圖るのは憎むべき所爲である。第一近頃冷淡か無いこ云ふのに、ごうして池谷さんが內地で事業をしてゐられるか、モウ朝鮮へ來る心持が無いこ云ふ事が判るだらう……

『池谷さんは乾度入らつしやる、近く乾度入らつしやるに違ひ無い』

靜子は斯う考へた、池谷さんさへ來られゝば高山が云な手段を施さうこしても其餘地は無くなるのだ。私の池谷さんは乾度入らつしやる……

其時心の中で「けれごも」こ云つて其期待を裏切つたものがある。

『けれごも、——』

さう思へば私にしても疑はしい點が無いでも無い

『私が何度も差上げた手紙に、一本の御返事も下さらない』

『餘人は知らず、二人の間に返事が無いこ云ふ筈は無いぢや無いかよこすべき返事をよこさないのには、それだけの理由があるに違ひない、私この約束を棄てたのか知ら……』

『池谷さんはそんな方では無い』

『そんな方で無いなら何故默つてゐるの……たつて二月近くにもなるのに一言の音信も無い！』

打消せば打消すほご、疑惑の灰色の雲は濃くなる、厚くなる、——涙が後から後から噴出すやうに湧いた。

ごうかして『モウ一度池谷さんの心を私のものにしたい』こ思ふ傍から

『駄目だ、モウ池谷の心は……にお前を離れてしまつてゐるぢや無いか、離れないこ云ふ證據が何處にある！』こ嘲ふ者がある。

靜子は泣いても泣いても足らなかつた。家を脫れて鬱陵へ行つて見ようかこも思つた。父に打明て其助けを求めようかこも思つた。併し一度の音信も無いこ云ふ事實は、それらの考へを悉く粉碎してしまつた。

疑惑は益々厚くなつて、靜子は力強くずるずる引摺られて行た

『愈々棄てられたなら私にも覺悟がある』

復讐！こ云ふ二字が頭に閃いた時靜子は漸く踏止まつた。

『モウ一度——一度限り手紙を出して見よう、それでも返事が無いなら……』

乾度返事があるこ思ひ定めて、靜子は顏を擡げた。それでも青い顏に涙はまだ流れてゐた。

夜半迄靜子は筆を執つてゐた。

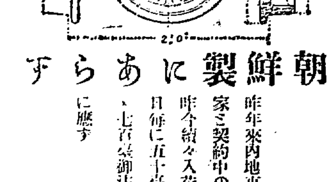
中元御贈答品賣出
七月二日より
御手輕にして重寶なる三越の商品券
東京、大阪、大連、京城の各店に共通壹圓以上何程にても發行仕候
京城 三越吳服店

言論界の權威
新時代
雜誌中の雜誌
七月號（毎月一回一日發行）秋氣霜漲ぎる正の
新聞大家の新聞觀（配列は到着順）
◎新聞記者の天職 ◎主義に終始一貫 ◎大任なる大也 ◎新聞紙の發達 ◎文明の新聞男 ◎予の新聞觀 ◎新聞記者生活の感想
◎新聞界に入れる者の顚末 ◎記者たる資格 ◎新聞記者の責任 ◎富者の暴行 ◎記者の協會 ◎新聞記者に關して
民本主義 露國を亡ぼす男爵 田 林源一
支那の政黨
戰塵哀話
水泳諸流の長短
三越こ白木屋
時代大觀
新聞界の羅馬法王大阪朝日新聞 杉中種吉
國際法の將來 神川彥松
外米管理令に就て 矢作博士
大戰の歸結如何 長瀨鳳輔
日支協約の批判 牧野義智
近代人と民衆愛 吉川絃一郎
魔こして 中村星湖
咒はれた女の群 田村俊子
漫畫 池部鈞
文藝 浮草
人生の毒を羞めて
政界秘密物語
本誌獨特の人物評
歷代の外相　財政記者　臺灣官場總まくり　辯護士總まくり　刀圭界人物評　東京市會議員總評　帝都の三巨頭
保險界の人物　實業之日本社評論　自動車會社評論　趣味より見た現代文士　有島武郎論　女優總捲り　現代女流歌人總評
信用ある全國の書店にあり
新進作家優遇
懸賞文藝募集

眞理と趣味の一大殿堂
縮刷新刊
木村鷹太郎先生譯
プラトーン理想國
特價一圓八十錢　正價貳圓　郵稅八錢
片手判 特製天金美裝 一千二百五十頁
世界不朽の書プラトーン全集五巻中『理想國』最も傑出して世の歡迎措かず。論ずる所は教育、宗教、哲學、文學、美術、天文、數理、物理、經濟、政治、社會等一切の問題を網羅し、……なる人物養成の一大寶典也。……今や縮刷更に讀書界を賑はさんこす。

富山房縮刷名著
芳賀博士杉谷代水兩先生著　十七版 縮刷 作文講話及文範　特價一圓六十錢　正價一圓八十錢　郵稅十二錢
芳賀博士杉谷代水先生著　十四版 縮刷 書翰文講話及文範　特價一圓五十錢　正價一圓七十錢　郵稅八錢
芳賀博士閱 富山房編　五版 縮刷 現代名家書簡集　特價金一圓　正價一圓廿錢　郵稅六錢
ギョオテ原作 森鷗外博士譯　再版 縮刷 ファウスト　正價金一圓七十錢　郵稅八錢
坪內文學博士著　再版 縮刷 通俗倫理談　定價金一圓　郵稅六錢
遠藤文學博士著　三版 縮刷 常識百話と生活の趣味　定價金一圓廿錢　郵稅六錢
竹越與三郎先生著　再版 縮刷 人民讀本　定價四十錢　郵稅四錢
池田蘆洲先生著　再版 縮刷 大奧の女中　正價一圓廿錢　郵稅八錢
東京神田 富山房　振替一〇五

チルドル製
在庫七百臺
土工用車輪



朝鮮製にあらず
昨年來內地專門家こ契約中の處昨今續々入荷廿日毎に五十臺づゝ七百臺御注文に應ず
東京製鋼株式會社　中根式鑛山用車輪發賣元　○虎印八角鋼朝鮮發賣元
朝鮮總代理店
京城南大門外　電話一〇四番　中根商會
京城 蓬萊町　電話一二六五番　中根工場

舟遊びは　淡江 遊船俱樂部に　龍山電話一〇番へ　△御一報次第參上▽

京日案內
▲申込中途で揭載中止の節は料金不返戾
▲六回以上の御申込は特に割引のこさ
▲御照會は返信附にあらざれば回答せず

●揭載機（百廿頭拾花印）附屬品共有讓り渡し御希望者は御來談を乞ふ　長谷川町五八の四　電話二一〇五
男女事務員數名至急入用　年廿歲以下　市內保證人ある者履歷書携帶本人來談　長谷川町五八の四 三好
▲店員並に仲仕數名至急入用　運送に經驗ある廿歲以下の者　平壤大和町 協同組運送店
●十五六歲小僧入用保證人を要す　旭町一丁目電話二〇二五番　山本メリヤス雜貨商店
少額資本にて有利の事業あり希望の方は本人直接來訪面談の上契約　永樂町二丁目十八番地 川口（西本願寺前）
日人書記一名招聘　代理店及外務員採用　京城府苑南洞一九番地　日本生命保險株式會社 電話二〇五六番
尋人 櫻井モン　島根縣濟谷村　廿四歲　兄五月五日死去す至急居處知らせ　京城南大門外 岐阜屋旅館內 櫻井久太郎
●店員入用　至急入用年齡廿歲以上ある者▲希望者は履歷書携帶來談　京城南大門正面 救世藥舘
●高級事務員募集　至急式名採用希望者履歷書送れ　京城北米倉町百四十二番地 朝鮮興信所
店員入用　十五歲以上十九歲迄の者　京城南大門通五丁目 齊藤商店 電話二八一〇番
名灸　京城貞金町三丁目郵便所西へ三軒目 電話一〇八七番 大年玄道
北鮮中間自動車開通　七月一日より汽車發着時間に連絡し定期發着す　貸切に應ず　安自動車運輸會社
測量製圖　料金低廉 秘密嚴守　御希望により御宅に參上事務に從事可仕候　京城南米倉町二二六 村田
新債券買出し　各債券高價買入　京城光化門通　電話一四四七　大日本債券會社

◎米艦船建造公表

米國大統領は十六億弗の海軍經費法案に署名せり海軍卿ダニエル氏は直ちに戰鬪巡洋艦超弩級艦其他の艦船四十八隻の建造に着手すべしと公表せり上院法案は水雷艇、驅逐艦、潜航艇其の他小船艦建造費十億弗計上せり（華盛頓電報）

◎支那借款と米國

米國國務省代表者は支那借款に關し引續き國際諸銀行と協議中なるが銀行側は政府の承認無くば借款契約を爲さゞる事に議決したるも政府の意嚮は該借款に賛成なるもの、如し（紐育電報）

◎米租税收入增加

本年度米國租税收入額は三十六億弗にて前年に比し二十八億弗の增加なり（華盛頓電報）

◎兩露將軍の使命

コルチヤコフ將軍はステパノフ將軍等と共に四日午後八時三十分東京驛に着し露國大使クルペンスキー氏等の出迎へを受け東京驛ホテルの第六十三號室に入れるが兩氏の使命はクルペンスキー大使と西伯利の現在將來に就き詳細の打合せを爲し或種の目的を達する爲にて時局に重大なる關係を有す可き性質のものなりと（東京特電）

◎銑鐵の暴騰 戰前の十一倍

▲相場の變遷 銑鐵市場は時局以來著しき暴騰を演じ殊に昨年下半期より本年度に掛けて驚く可き激騰を告げたり今時局以來の市價變動の狀況を示すに左の如し

年月	一噸價格
大正二年二月	四十七圓
同　八月	四十二圓
同　十二月	三十九圓
大正三年一月	三十九圓
同　四月	三十八圓
同　八月	五十五圓
同　十二月	四十四圓
大正四年一月	四十五圓
同　五月	五十三圓
同　八月	六十圓
同　十二月	八十圓
大正五年一月	九十五圓
同　五月	百二十圓
同　九月	百五圓
同　十二月	八十五圓
大正六年一月	八十八圓
同　三月	百二十圓
同　七月	百九十圓
同　八月	三百圓
同　十二月	三百十五圓
大正七年一月	三百二十五圓
同　三月	三百七十圓
同　五月	三百八十圓
同　六月	四百二十圓

▲戰前の常値 右表に據れば戰前即ち大正二年より三年上半期に於ける銑鐵市價は三十八圓乃至四十七圓迄の間に在りて普通四十圓見當を常値としたるもの、如し然るに開戰の翌八月は五十五圓に上り幾分普通よりも高値を示したるも其後戰爭終局じにて稍下押したる翌四年五月頃迄は依然不人氣にて推移したり然れ共戰爭と鐵とは戰爭と船舶との如く多大の關係を有し之に依つて必ずや其不足を告ぐるの例なるを以て戰局の進展と共に歐洲方面の供給漸次減少し從つて市價も昂騰歩調となり五年五月には遂に百二十圓の大暴騰を見るに至れり併し當時は尚印度方面の輸出自由にして需給の伸縮力も大なりし爲め高値の反動にて市場再び不振に赴き年末より六年始めに亘り八十五六圓に下押し依然萎付狀態に在りたるが茲に市場活躍の一大材料の突發せり

▲外國銑禁出 即ちそは印度銑鐵の禁出是れなり、之れより先き英國の鐵材禁出に逢ひたる以來我が國への銑鐵供給は支那方面を除く外主として印度に仰ぎつゝありしを以て其の杜絕が內地市場に及ぼしたる影響の大なるは言を俟たず即ち市場は一躍百圓を突破し三月末には遂に百二十圓に上り爾來奔騰を續けて七月には百九十圓の高相場を示す事となれり、然るに又復暴騰材料の再發を見たるは印度銑鐵の禁出に逢ひたる以來我需要漸次米國に向ひつゝありたるもの同國參戰と共に遂に其絕對的禁出に遭遇したる事是なり此報に接したる市場の狼狽一方ならず市價も一躍活潑を見る事となれり同高の嘆三百圓を呼ぶに至り爾來在荷の漸滅と相俟つて暴騰に暴騰を重ねたる結果本年六月には遂に四百二十圓の大相場を現はし他の鋼鐵類より却つて高値なる奇現象を呈したり而して昨今に於ては內地產鐵も幾分增加したるが大半は多く關係會社の需要に供せられ市中に出づるもの甚だ少額なるを以て今や市中は更に四百三十圓を唱へ大阪市場は四百四十五圓を呼ぶ者ありて殆ど天井知らずの慨あり之を戰前の安値に比較する時は實に十一倍の大暴騰に當り其戰爭に依り受けたる影響の如何に大なるかは以て知るべし（大阪）

◎支那の紡績 朝鮮需要綿絲は滬手

支那の紡績事業を視察し此の程歸來せる某氏談に曰く上海に於る支那人經營の紡績工場は多數なれども經營者の注意宜しきを得ず技術者にしても無經驗の者を使用し居れるが爲何れも成績不良にして經營難を訴へ居れる有樣なるに反して日本人經營のものは技術者に於て職工の監督行屆き居るが爲め支那側のものに比し六割以上の好成績を收め盛んに事業を經營し其成績及び經營振に至りては比較にならず今後支那工場が日本側と併行し得る迄には今日の狀態にては

▲百年二百年の後なるべく職工の如き男女共常々監督者の眼を盜みては仕事を放棄して顧みざるのみならず場內の不潔さ加減、驚くの外なし同地に於て英國人の工場を視察せんと或る親しき英人の斡旋を得しも絕對に之を許さず日本人の工場を視察せんか多數支那人の職工等は亦日本人の爲に工場を買收さる、かと危惧の念を抱き事業に影響する事甚だしければとて之を拒め然るに一面支那側工場は之に反して喜んで吾等の視察を歡迎し改良すべき點あらば指導を仰ぎ度しとて快よく之を見せしめる等に徵しても英人の拒絕は一の口實にして實に支那人經營の五萬錘餘のものにて百二三十萬圓にて安田に於て買收せし際の如きも英人は盛んに反對を唱へしと云へば全く猜疑心より來れるものなるべし

▲又動力關係 に就て取調ぶる處ありしが目下の處にては新に獨立にて電氣動力等の計畫をなさんより上海市營に係る電氣動力を使用する方得策なるが同動力も不足を告げ之が擴張の計畫をなし已に工場の建設等竣成せるも機械の到着せざる爲め運轉するに至らざるが愈々開始の曉には該電氣動力に依るに若かず天津の紡績工場は邦人名古屋高等工業學校の經營に係り男工のみを使用せるが上海のものに比し成績良好なり奉天に至りては上海と大差なし偶々奉天の燐寸工場を視察せるが同工場にては男女工場を各々區別し居れるがコハ監督上の便宜より來りたる由にて此方面の事業の成績上良好なりと要するに上海を始め其他支那に於て紡績其他事業の經營は日本人として支那人勞働者の監督宜しきを得ば必ず成功すべき事と確信す合併事業も成績の良好なるに連れ彼等支那人は自己の技術を顧みず尚能く獨立して同一成績を擧ぐべしとなし失敗する事なからざれば寧ろ面倒を避けんが爲めには日本人獨立經營も宜からんが一面販賣上の關係として彼等の名を列するも亦一策なるべし

▲北部支那 及び朝鮮とも從來綿布及び朱子類は厚手物のみを用ひ居りしが近來薄手を用ふるの傾向を生じ薄物の輸入さるもの少からざるが是等は多少贅澤に傾きたる結果ならんと觀測さる亦染物木綿類は日本品至つて人氣惡く原因は染色の褪易きと品物の粗惡に依れるもの、如し

◎殖產銀行の設立 山縣設立委員長の挨拶

五日夜朝鮮ホテルに於ける山縣殖銀創立委員長の記者招待宴席上になせる挨拶の大要左の如し

朝鮮殖產銀行設立委員會は去る七月一日第一回の會議を終了し是より株式の募集に着手するに當り各位の御援助を仰ぎたく右披露を兼ね御招待申上たる處御繁用中にも不拘御來臨を忝うしたるは大いに欣幸とする所なり扨朝鮮の經濟界は併合以來

◆長足の進歩を告げ各種產業の發達は實に顯著なりとす明治四十三年の總生產價額は一億五千萬圓なりしが大正五年には三億五千萬圓を算し倍額以上の增進を示せり就中農家副業殊に養蠶業の如きは刮目見るべきものあり又水利事業、造林業、鑛業其の他各種事業の勃興は一々絮說を爲さゞるも殆んど隔世の感なくむば非ず更に各種銀行に於ける民間預金の消長を顧るも明治四十三年には千六百萬圓なりしも大正六年六月末に於ては四千二百萬圓に達し約二倍半の增加にして以て富力增進の一斑を窺ふことを得べきも其の預金額を內地の夫に比するときは未だ其百分の一にも達せざる狀態にして尚朝野共に奮勵努力を要するもの尠しとせず蓋し民力を涵養し

◆基礎的產業の堅實なる發達を遂げしむるは朝鮮開發の根本義にして之れを助長する爲め金融機關の整理改善を圖るは實に目下の緊急事に屬するを以てこゝに現在の六農工銀行を統一し資本を增大して一大銀行を設立する爲め朝鮮殖產銀行令を制定せられたり抑も農工銀行は明治三十九年六月より漸次各地に設立せられたるものにして政府は其の株式を引受け或は多額の貸下金を爲し其の營業を保護し現今本店六支店四十一を各地に分布し設立以來農工資金の供給と併せて商業金融の任に膺り金融機關の全然缺如したる當時に在りて周く金融の途を開き積年疲憊を極めたる農民に對し進むで資金の融通を圖り爾來扶掖誘導其の向上發展に努め以て產業隆興の素因を助長し財界の發達に寄與する所鮮少ならざりしも然りと雖も其の擁する資本額は各行合計僅に二百六十萬圓にして其拂込額は百四十六萬餘圓を算するに止り其勢力の微弱にして

◆復時運の推移に順應するに足らず之を最近經濟發展の趨向に鑑み更に戰後に於ける財界の大勢に想到する時は今に於て農工銀行在來の組織に根本的革新を加へ以て一層其の機能を發揮せしむるの必要あり因つて茲に農工銀行分立の制を改め之を統一して大銀行と爲し朝鮮全道の資力及び信用を一團として普く資本を蒐集し材能ある理事者を擧けて其の管理を委ね以て半島將來の經濟に貢獻せしめむとするの計に出でたり此の如く朝鮮殖產銀行は朝鮮開發上特殊の使命を以て成立するものなるが故に政府に於ては其の基礎を鞏固にし遺憾なく其の任務を遂行せしむるが爲設立後五年間拂込資本額に對し年七分の利益配當を保證し、政府に對しては十五年間利益の配當を免除し從來の政府貸下金約百五十萬圓は其の基礎の確立する迄無利子貸與のこととし尚資金關係に在りては朝鮮銀行と充分なる連絡を保持せしめ東洋拓殖會社とは不動產金融上密接なる關係を有せしむるの外主として債券の引受を爲さしめ更に日本勸業銀行との金融關係を確立し代理貸付の方法に依り

◆豐富なる資金を朝鮮に招致するの途を啓き彼是相待ちて殖產資金を潤澤ならしむるの方針にして新銀行の活動範圍は著しく大藏し其の前途頗る多望なるは敢て疑を容れざる所なりとす而して從來の農工銀行は其の成績に於て多少徑庭あり一二銀行の如きは多額の固滯貸を擁したるも既に之が整理の方針確立し遲くも今後十箇年內に確實に其の整理を完了し得る計畫なるを以て株主たらんとする諸氏は此點に關しては何等の顧慮を要せざるものと御承知を願ふ而して朝鮮殖產銀行の株式は總株二十萬株の內十三萬六千餘株を募集するも內農工銀行株主に對する優先募入株約五萬六千株を控除することは新に公募する株數は八萬餘株にして內地及び滿洲に於ても廣く株主を募集するも本銀行の性質に鑑み朝鮮內に於て成る可く多數の株主を得たき見込にして大いに各位の御援助を切望する次第なり各位は此趣旨を諒せられ汎く世上に之を紹介せられ以て本銀行の設立に關し十分の成效を收むることに御助力あらむことを冀ふ

◎山縣委員長招宴 京城記者團

朝鮮殖產銀行の設立計畫進捗に付き其の披露を兼ね設立委員長山縣政務總監は五日午後七時より在京城各新聞通信雜誌社長並に特派員等十數名を朝鮮ホテルに招待し張宴せりデザートコースに入るや山縣委員長は起つて別項の如き挨拶をなし右に對し萩谷朝鮮新聞社長の記者團代表の謝辭あり宴後主客はローズガーデンに出で歡談を交し十時散會したるが主人側よりは委員長山縣政務總監委員三島鮮銀理事同秋田總務局長韓吉中村朝銀總務局長同河內山司計課長同野坂理財課事務官秘書官遠藤柳作の諸氏列席したり

◎農銀臨時配當

全州光州慶尙咸鏡四農工銀行は大正七年度上半期の決算に於て普通配當年八分の割の外五分以上の臨時配當を行ふべく目下決算表作成中に係り近く總督府の認可を申請する由なるが該臨時配當は四農銀が從來年八分の配當を持續し來りしに今回殖產銀行に統一せらるゝ結果向後五年間は恐らく政府の保證せし配當年七分の割を超ゆる能はざるべしと豫想せらるゝに付今後四農銀の現株主は殖銀に併合せらるゝため一分の配當減を餘儀なくせらるゝに付少くも今後五年間現配當八分の持續せらるゝものと假定し殖銀配當七分との差一分宛乃ち最低五分の臨時配當を行ふものなりと

◎价川輕鐵時間改正

平南道价川輕便鐵道は時間を左の通り改正したり

新安州發价川行	
同 前	六時二十分
同 前	八時四十分
同 後	十二時十分
同 後	三時十分
同	五時四十分

价川發新安州行	
同 前	六時二十分
同 前	八時四十五分
同 後	十二時二十五分
同 後	三時二十分
同	五時四十五分

內地入郡守（四）

清州　山崎駿二氏

私も總督府には丁度七年勤めて居ますが農務課と申して居つた丈けで產業上何等の智識經驗の無い者が計らず今回任を帶びて清州へ赴く事になつたのですが果して其任であるか何うかは頗る疑問とせざるを得ません然し出來る丈けの事はして見度いと思ひます郡守としての仕事は今迄の樣な一方に偏した事務とは異つて隨分多方面に亘つて色々面倒な仕事も多い事と思ひます先輩諸友の援助に依つて大過無きを得ば幸だと思つて居ります

◎高野店長向釜

高野三井物產支店長は七日午前八時四十分南大門驛發列車にて釜山に向ふべし

◎韓相龍氏招宴

漢城銀行專務取締役韓相龍氏は五日午後六時半より蕭山洞の自邸に於て今般來鮮せし片山日銀理事を主賓とし小原殖產局長部長官久保京管局長大田鮮銀理事其他幹部並に度支部高等官諸氏を招待せり

◎小田氏開業

鮮滿に志賀組商事部を辭し歐羅巴有利品各地を漫遊せし小田榮氏は今般京城永樂町二丁目三十四番地に榮昌行を設け七月一日より開業せるが軌條、機關車、機械類の輸入販賣に從事する由

◎忘機吟社例會

忘機吟社例會は阿部無佛居士の送別を兼ね來る七日午後一時より大和町三丁目曹谿寺に於て開催すべく當日の席上課題左の如し

送無佛居士東歸

人の消息

▲島五郎氏（鮮銀理事）滿洲引揚中
▲岩崎男爵　五日夜入京朝鮮ホテルへ
▲化粧品觀察團一行　同上
▲中村高次氏（農工銀行春川支店長）同
▲上不知火館へ
▲佐々木予作氏（同清州支店長）同上
▲諸谷太吉氏（同大田支店長）同上
▲高原銓吉氏（稷山金山支配人）同上
▲田島秀雄氏（東京堅田洋行支配人）五日夜退京

鶯百種

今日は我英國皇帝及び皇后陛下の銀婚式日である▲英皇室での銀婚式はジョージ三世以來始めての御賀であるから▲普通ならば大々的に祝賀式を擧らるゝ處であるが何分戰爭中であるから特別のお催しは無いとの事▲國民の熱誠を籠めた贈物も戰時の用を缺くやうな品物は勿論▲個人向のものも一切謝絕された相な▲其處でニユーフアウンドランドの如きは皇后陛下から出征兵への御贈物として當の樣に靴下六千足を獻上するとの事である▲英皇室と云へば皇太子殿下は開戰以來陸軍將校として佛國伊國埃及等各地に出征せられて居る▲最早滿二十五歲に達せらるゝので皇室では內々妃殿下の候補者を御選擇中であるとの事である▲米國新聞を見ると世界の最も進んだ文明國から美人を選擇されるのだらうと書いて居る▲而し英國民一般の感情は矢張り英國生れの淑女が宜敷からうと云ふ此に一致して居るらしい▲倫敦に此頃『行列小僧』と呼ばるゝ者が出來た▲其れは食糧を買ふ人々が行列を造つて自分の番の來るのを待つを利用し新に出現した小僧である▲即ち貧民の子供等は澤山な群衆と共に行列に加はつて居て何時間も待たねばならぬ遲い番で自分の順番が來ると▲入に自番の權利を賣り買手と入替り着早く後の方の行列に又加はる▲斯うして一日に何回も繰り返すと相當な金儲けになるが▲之が又便利だと云ふ事になつて此小僧が大分ふゑると▲默敗をする小僧が大分市中に減つたとは面白い▲雨が上ると暑くなつた愈々最う夕涼みの時節となつた▲電氣會社では納涼電車を出して呉れないかと云ふ▲何うです運轉せらるゝに違ひない▲何うです社では早く實行しては本社などは早速大に援助するがネ

六十四の老…

◎大癖畫伯金…

梅

青梅の出る頃となりました梅干を作りますには先づ梅を返がへします、尤も三日乃至五日ほど干します…干した梅のまだ微溫の時に此の赤い紫蘇の中に入れますと綺麗な色の…

◎過軍支那兵衝突

▲流行燈袴▼

▲特價金拾圓也 送料鮮內十二錢外三十錢

◎純毛にして新流行縞物四種
◎世間ありふれたる內地製品にあらず

英國製にして「シワノヨラヌ」事

右非常の好評殘部僅少と相成候間至急御注文願上候

京城太平通り一丁目
京城日報社代理部
電話長六〇〇九番　振替貯金口座三〇一番

氣持のよいペンの走り
メリット萬年筆（定價貳圓五拾錢以上）
思はず知らず事務の捗取る
アームス萬年筆（定價壹圓五拾錢以上）
東京神田 サムライ商會
滿韓地方に限り此際特に割引す
全國到る處の文房具店にあり

大觀 侯爵大隈重信主宰 七月號

◎奉迎コンノート殿下……侯爵大隈重信
◎下層產業金融の改善……勸銀總裁志村源太郎
◎戰後の我經濟戰……侯爵大隈重信
◎組織協同 社會本位主義と世界戰亂の教訓……文學博士建部遯吾
◎姑息なる取引所令の改正……法學博士河津暹

當面の外交問題
逼迫せるシベリヤ問題の解決は……法學博士高橋作衛
日本の義務並權利也
露國の將來……駐露白耳義公使デストレー
戰後米國の外交は帝國主義か平和主義乎……法學博士浮田和民
日英米同盟論……新東洋主筆スコツト
日本に外交なし……大石正巳

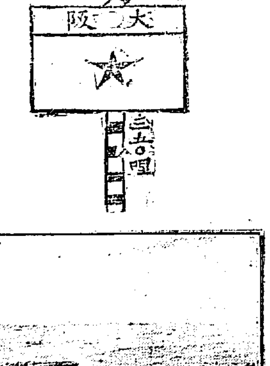
アウトルツク問題
大庭柯公 寺伯の尖鋭問題を中心として世界的政治家の…
鹽澤博士
鎌田榮吉 世界の田舍者
江木翼 寺伯の尖鋭は米國の…
小川平吉 獨逸が改造せらるゝ迄は…
林毅 …さずべからざる問題

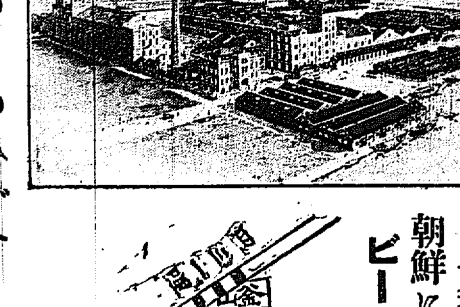
川の涼味
最上川の帆……田山花袋
洛中洛外の清水……窪田空穗
荒川の舟遊……齋藤與一郎
千年川のほとり……吉田紘二郎
利根川の奥……生田蝶介
耶馬田川……馬場孤蝶
筑後川の河……三津木貞子
一筋の川のほとり……兒玉花外
揖保川の夜……小川未明
千鳥の涼味……岩野泡鳴
川の魚……前田夕暮
川に憧るゝ心……長田秀雄
川の稻妻……上司小劍
押田川の…

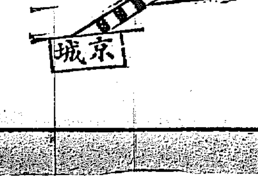
◎史劇及史劇論の變遷……坪內逍遙
◎現在文壇の印象……片上伸
◎海の中にて……菊池寬
◎再會……谷崎精二
◎メーソンに對する大隈侯と寺伯……由利忠八郎
◎遺憾……文學博士芳賀矢一
◎政界裏の（寺內々閣／居據內閣）……目白山人
◎新任鮮總督明石中將論……後藤鶴水
◎大隈侯座談……大酒飲 ◎新浮翁の自由思想 ◎新派柳橋の美人を知らぬか ◎危險と思はれた岩倉公 ◎我儘な… ◎卅八歲で…
一冊三十錢 郵税二錢
東京 大觀社

サクラ生ビール賣出し

◎炎天燒が如き眞晝又は夕食後の御散歩に一パイの新しい純粹樽詰生ビールを皆樣方に差上げる事の出來るのは朝鮮に一番近い工場の有る「我がサクラビール」あるのみです







◎釀造して一番早く朝鮮に着くビールは？

本日より樽詰サクラ生ビール賣出申候

郵便局橫　サクラバー　本町　本町バー
本町　ダリヤ　本町　清香園
櫻井町　カフエーサクラ　龍山　三角バー

●子供は何して居る
……云ひ出す始末に誰もそんな馬鹿な事はないこ一笑に附し居たり然るを……元氣に任せて立働きたる爲め身體を損ひ數日の後仆れにも死去したりこ一方嬰兒は其後の日……
……は昨年九月頃より兎角に……氏の腹は其後益々膨脹し去る……

●安東商議記念會　安東商業會議所にては三日午後四時より創立十週年記念會を開催し……の講話ある由

●曹洞宗別院　……六日午後二時より敬愛婦人會の例會あり宮田老師の……

……伯の金剛山作品展覽會は六七八の三日間京城ホテルに於て催す由

……方……ておきます、……市に大分……ましたら天氣の極好い日……す、さうしますこ赤い梅酢こなり……五合の割合に混ぜたなかに入れま……それから先に干して……食られます

……撤兵こ國境にて衝突ありこの報あり（六日午前零時二十分着東京電報）

●けふのよき日よ

締盟英皇帝銀婚式を擧げらる　御祝典は時局多端の際御沙汰止み

◇デフエンダー、オブ、フエイス印度皇帝の御事

現時日本の締盟國である英國皇帝ジョージ五世陛下は本七月六日を以て銀婚の慶日に當つて居られます平時ならば宮中で盛大な御祝典を擧げさせられる所でありませうが目下時局多端の際でもありますし御祝典丈けは御沙汰止みこなつたこ承はります而かし此の御慶日を壽ぐ意味で少しく陛下王室の御事ごもを記しますご

◇現英國皇帝　ジョージ五世陛下はハンノーバー家の出であられまして西曆千九百十年皇位に即かれた方であります御父君はエドワード七世陛下でありました御母君はアレキサンダー皇后でデンマーク王クリスチアン九世陛下の皇長女だこ承はります。ジョージ陛下は千八百六十五年六月三日にロンドンのマルボーロー宮で御降誕になり御兄君クラーレンスアボンデール公が千八百九十二年正月御崩御の後皇太子に即かれたのでした陛下は

◇寶齡十二歲　の御頃から軍艦に召させられ二十五箇年餘りも海上の生活に御馴れ遊ばされ世界漫遊に英帝國の領土巡りを御決行になり各殖民地人民の心を和ける事に御努め遊ばしました而してそれから千八百九十一年に英艦軍を總統される事になつたのだこ申します。それから千八百九十三年の七月六日にテック公故フランシス殿下の王女ヴイクトリア

◇マリーの方　こ御婚儀遊ばされ次いで千九百五年十月から印度旅行に御出御になつたのであります之れが陛下皇太子こしての最後の御旅行だつたのです而して千九百十年五月六日御父君先帝御崩御の後を承けて皇位を繼承遊ばさる、事になつたのだご承はります即ち本年は陛下が御婚儀遊ばされてから二十五年皇位御繼承後八年目に當つて居ますされば平てならば王室でも過にし年の

◇御盛儀を忍　ばせられつ、同じ日の六日御銀婚の御祝典を擧げさせらる、筈であつたでせうに!!!

陛下の皇子は千八百九十四年六月御誕生の皇儲エドワード、アルバート殿下を始め奉り千八百九十五年十二月御誕生のアルバート、フレデリック殿下千八百九十七年四月御誕生のヴイクトリア、アレキサンダー殿下、千九百年三月御誕生のヘンリー、ウイリアム殿下千九百二年十二月御誕生のジョージ、エドワード殿下千九百五年七月御誕生のジョーン、チャールス殿下の方々であります尚陛下の御姉妹には故フアイフ公ご御婚儀遊ばされた王長女ルイセ内親王、ヴイクトリア内親王、デンマーク王チャールス陛下ご御婚儀遊ばされたムード内親王ごがあります目下

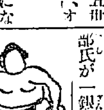
◇御來遊中の　アーサーコンノート殿下は陛下の御甥君に當らせらる、御方であります。而して陛下御即位後は千九百一年に發布せられた王室稱號令に基いて千九百十年五月九日布告を以て『皇帝の稱號は天佑に因り大ブリテン、アイルランド王國及び海外英帝國領域に於けるジョージ五世であるこ同時に『デフエンダー、オブ、ザ、フエイス』

◇印度皇帝だ　こ仰になりました此の『デフエンダー、オブ、ザ、フエイス』こ申しますのは西曆千五百二十一年にローマ法王レオ十世がルーテル（宗教改革者）に反對せる著書に對して時の英王ヘンリー十八世に與へた稱號でありまして爾後英國歷代の君主が帥用して居る尊稱だこ申します。又陛下は千九百十年先帝の崩御を以て皇帝崩御して其の皇儲世系たる者十八歲に達せざる場合は

◇皇后マリー　を以て攝政こすご御定めになつて居るのであります。——陛下の治下天下良く統られて、王室の御稜威隆々たるものあるは誠に慶ばしき極みだご申上ぐる外ありません

◎故阿部讓氏追悼會　京城西本願寺別院に執行

五月末釜山で客死した鮮銀司事故阿部讓氏の追悼會は東京に本葬のありし五日の午後五時半から京城永樂町西本願寺別院で執行された、故人の大寫眞を寺間正面の佛前に安置してくさぐさの供物が前に並べられ鮮銀から供へた花束、不知火旅館の花輪などが飾られてあつた、追悼會は十名ばかりの僧侶の讀經に初まり、讀經が終るこ三島鮮銀理事は友人總代こして弔詞を讀んだ、その弔辭には阿部氏の經歷や性行やら氏に對する銀行の期待やら遺族に對する哀悼の辭やらで綿々こして盡きず殊に阿部氏が一銀の城津店長こして又平壤の次席安東の店長哈爾賓の店長こして擧げた功績を大に稱へてあつた、朗讀がすむこ各自燒香の上散會したが來會者は高野三井店長足立十八銀行重役島田京城支配人外多數鮮銀よりは三島大田兩理事以下約百名餘り見ゑてゐた



東京大相撲　＝五日目＝

東京大相撲は五日を以て千秋樂こなるべき筈なりしも別項の如く延日大入に付六七の兩日日延することゝなりたるが五日目は天氣つゞきのため人氣更に引立ち來り相變らず大入滿員の盛況を呈したり六日の取組及び當日の主なる勝負並びに手捌きは左の如し

勝	決り手	負
生田川		翠ノ越
三保ヶ松		黒潮
一ノ島		荒濱
房州山		士崎
妙高山		神ノ石
九紋龍		千葉ノ音
甲州	突出	石ヶ濱
福知山	吊出	泉潟
大淀	吊出	淺ノ山
鶴ノ海	引落	眞砂岩
能代潟	押切	伊達錦
▲中入後		
若葉山	突出	小田ノ山
玉ノ川	反倒	小牛田
藤ノ川	押切	白岩
大岬	寄倒	三杉磯
大潮	掛倒	錦島
千葉ヶ崎	上手投	大戸平
鳳	吊出	琴ヶ浦
▲本社番外お好み		
錦島	寄切	大戸平

▲同決勝五人抜鶴ノ海　右の內▲小田ノ山に若葉山は諸手にて立ち上るや小田突張つて寄りつるを若葉擱いて押へんこするを小田飽くまでも突張り若葉の腮を攻めて寄り進むを若葉土俵を廻つて殘しつゝ突き出して勝▲玉ノ川に小牛田は立上るや小牛田左を差して寄り正面詰りへ寄りを差し小牛田が土俵際に怺ふるこ詰め小牛田が土俵際に怺ふるこあを捌ひ投げを打つて勝▲藤ノ川に白岩は待つた數回の後白の壁にて立つや藤右を差して寄り進み白の怺ふるこころを一氣に寄り出して藤の勝は是非もなし▲三杉磯に大岬は入念に仕切つて立ち上るや突くこ見せしが素早く左を差して鋭く寄り立て東溜りへ寄り立つるを三杉殘して廻り反對に寄り進むを岬よく殘して寄返し東溜へ押し詰め三杉が怺ふるこころを外掛けに寄り仆して大岬の勝▲大潮に錦島は双方の聲援盛んなる內に清く仕切つて立ち上るや双方共よく四ツ吊り合ふあたるも双方共よく殘して更に寄り合ふ內大潮機を見て吊身に寄り進み錦が正面土俵に怺ふるこころを葉ち込んで勝▲千葉ヶ崎に大戸平は立ち上るやバッタリ左四ツ大戸煽つて寄り立て正面溜へ寄り立てし時は千葉危ふかりしも千葉殘して打棄り氣味に上手投にて勝

▲六日目取組

（石ヶ濱 淺ノ山）（若葉山 玉ノ川）
（鶴ノ海 福知山）（能代潟 伊達錦）
（小田山 小牛田）（大戸平 三杉磯）
（白岩 琴ヶ浦）（大岬 錦島）
（千葉崎 大潮）
（藤ノ川 鳳）

櫓に行き見事に極まつて千葉の勝▲鳳に琴ヶ浦は立ち上るやバッタリ右四ツ琴の寄るを鳳殘して吊り出して勝にて七時打ち出したり

相撲雜觀　揃つた好取組　熱狂した觀客

中入後例に依つて本社好みの幕下十枚目は大戸平藤の川の取組は萬場喝采裡に藤の川勝決勝五人抜きは鶴の海に藤の川、石ヶ濱、九紋龍、能代潟、若葉山の五人を倒し山梨縣人有志の好み甲州こ小田の山の初切りに續いて勸進元より若客へお禮こしての飛付五人抜きは

▲元氣者揃ひ　も揃ひたる事こて却々勝負決せず牛田川の如きは三保の松に嫌こ言ふ程ぶつつかり前齒をかきたるにも拘らず相撲ひ雷震遂に五人を抜きたるは力が入つたり中入後は大岬に三杉磯は大岬組めば大相撲こならんこ好角家の間に期待されしが果して大岬褌を取つて突付けたれば大相撲こなり三杉渾身の力を振ひたるも遂に寄り倒されたるは滿場熱狂したり大潮に錦島は共に人氣力士の事こて

▲看客總立ち　こなつて聲援し龍攘虎搏の激闘の後大潮が掛け倒して勝は拍手喝采も止まざりき京城には比較的好角家多く連日大入の盛況を呈しつゝあるが中にも正面棧敷に青木戒三君の雨に濡れたやうな顏を見ざる日こてはなく小田商工課長、大塚參事官、白上貞一、山田勝二郎、李王職側にては田中遷、武藤女官の諸氏は連日見ゑ其他鮮銀、東拓、第一銀行、總督府、三井物産、柳川大曾、サッポロビール等にては初日以來四間以上を買切りこなし

▲花柳界では　初日の三券番總見以來最寄々々にて總見をなし大いに景氣を添へたるが殊に中港日相撲場に姿を現はしたるは大郎、おかよ、花勇、秀千代、ふぢ香、久子、德勇、千代治等なりき

▲大潮後援會　同會は延期したる二日間も引續き盛大なる後援をなす可しこ

▲愈々日延と決す　土曜日曜の觀客の爲に

東京大相撲は五日を以て千秋樂こなるべき筈のこころ當地に於ける人氣旺んにして日延べ希望者頗る多數のため六日（土曜）七日（日曜）の兩日間日延べすることゝなりたるが六日は本社の幕の内決勝五番抜き等あり、殊に土曜日の事なれば大入を博するなるべし

▲幕内決勝五人抜の興味　朝鮮で始めての面白い取組

本社が連日一般好角家のために出しつゝある番外餘興の決勝五人抜きは何時も力の這入つた角力を取ることこて喝采を博し居れるが今六日目は本社は別項の如く特に幕の內決勝五人抜きを出すここゝなれり出場力士は大潮、三杉磯、琴ヶ浦、藤ノ川を始め元氣者の鶴ノ海、能代潟等にして右は朝鮮にては全く始めてのこことて大喝采を博すべく好角家の血を湧かす事なるべし

▲飛付五人抜　右の外勸進元よりのお好みこして幕下の飛つき五人抜きを出す由なるが是亦壯烈なる立合ひに喝采を博すべく兎に角書き入れ日なりこいふべし

◎警察署長の收賄嫌疑　高木代議士申告

東京日本橋區警察署新馬場分署長竹上繁視は三日以來兜町株式市場に於ける惡仲買の調査に沒頭し一件書類は既に紹總より檢事局に廻され命令一下大罪數十名の仲買の一網打盡的處分を見る可しこ傳へらるるに際し國民黨代議士高木益太郎氏は竹上分署長に收賄嫌疑ありこて檢事局に申告し目下檢事の取調を受けつつあり（東京特電）

◎銀行頭取等收監さる

東京府下中野町第七銀行頭取菊池重義（五三）同取締役大村和吉郎（四四）千駄ヶ谷町東盛銀行取締役小川義久（三三）の三名は銀行預金五十萬圓を費消し四日收監さる（東京特電）

◎馬ぐるみ強奪　＝絞殺の上＝

平南江東郡晩達面達山里生れの宋斗炳（三三）は龍岡郡西和面柴浦里の元頑國（三三）が六月十一日平壤にて驢に白木綿五十餘圓を乘せ黃海道谷山郡に向ふ途上同日午後四時頃谷山郡鳳鳴面柏川里の谷川にて休憩中を見て突然背後より頑國の後頭部を強打し手拭を以て同人を絞殺したる上馬ぐるみに木綿を強奪し各地にて賣却中一方約一週間の後頑國の屍體發見され谷山分隊にて犯人嚴探中宋斗炳の所爲なるこごを突き止め同人を逮捕せり

◎婦人講演會

女子の德育養成につきて實際教育に努力しつゝある京城女子技藝學校にては六日午後一時より同校講堂に於て本社講演部主催山縣光氏を聘し婦人講演會を開く由なり

◎開教總監觀察　淨土宗開教總監……師は理事大町……師を隨行し五日朝南大門發開城、平壤、鎭南浦、新義州其他北鮮地方各教會視察の途につく

◎棧敷一圓に土場七十錢　何處でも上場行き　次第で更に札幌麥酒進呈

＝木戶口で割引切符發賣す＝
＝京日讀者の一大特典＝

東京大相撲日延につき本社は讀者諸君のため特にサッポロビール並に勸進元こ協定の結果從來本社が提供し來りし特等一圓三十錢の割引を更に一圓に大割引土間九十錢の割引を七十錢に割引することになり割引入場券は當日相撲場所に切符發賣所を京日讀者に賣り出すここゝ爲れり、右割引券を購求すれば木戶、棧敷共無料且つ正面棧敷を始め三方棧敷何れも上場行次第の早い者勝なる上に木戶入口にてサッポロビール大瓶一本宛を進呈すべし、此の外當日は學生軍人に對しては各等半額こなすべしこ

サッポロビール後援

他館の絕對に企て及ばざる大計畫御鮮に最初の新しき試み『米國式ステージキネオラマ應用』
京城 於 黃金館
札幌麥酒優待半額券（自七月五日至七月七日 三日間限り）
サッポロビール愛飲家に限り本紙切抜の上御持參の御方は入場料半減可致候
大日本麥酒株式會社京城出張所

東京大相撲　七月六日七日兩日限り
京日讀者優待
割引
特等　上下棧敷（木戶共先著順）　金壹圓
二等　土間（木戶共）　金七拾錢
◎外各等サッポロビール壹本宛進呈
◎入場券販賣所は木戶入口に新設す

朝鮮總督府裁判所書記兼通譯生　普成商業學校講師　西村眞太郎著
日鮮會話精通
袖珍總クロース頗美本◎七百餘頁◎定價一圓三十錢
諺文の素讀を學修し得たる人士は速かに本書を購求せられむ事を勸む
凡そ自己の知らむと欲する朝鮮語は如何なる言語と雖も悉く本書を繙きて知る事を得べし
眞に本書は萬般の會話例を網羅せる一大辭典たり。語數の豐富、譯方の正確、說明の親切。會話の實際的なるは本書の特色なり速かに一書を購求して熟讀あらむ事を祈る
發行　京城太平通二丁目　振替京城三〇〇番　京城日報代理部
取次　京城本町二丁目　大阪屋號　京城本町二丁目　巖松堂

朝鮮彙報
朝鮮地方彙報號
□大正七年六月號（毎月一回）定價十二錢 郵税一錢（廣告料一頁金六圓）販賣店京城大阪屋號書店
□口繪
□税關長に對する總督訓示
□道慈惠醫院長に對する總督訓示
□典獄に對する總督訓示
□司法官に對する總督訓示
□地税令改正の要旨
□地主に對する希望　內務部長官　宇佐美勝夫
□研究資料　使用料及手數料に就て……大小麥優良品種普及の狀況……
□地方通信
□雜錄
□例規
共通法に就て（承前完）　國分三亥
朝鮮に於ける海運事情
地方小作慣例に關する調査
統計　雜錄

質　京城明治町二元昭町　大塚質店　電話一八四九
戰慄すべき火災の防備に遺憾なき完全金庫あり多額の融通も御便宜を圖る

京城本町二丁目　川合時計店　電話一九一八　振替京城一二一九

七月六日より同十二日まで
中元大賣出し
御買上金壹圓毎に福袋進呈仕候
京城本町二丁目　㊕松菊屋小間物店　電話二四六三番

自轉車部分品卸商　清水自轉車店
○同業者に限り卸値段表進呈可仕候
京城南大門通一丁目九十五番地
工場　京城黃金町一丁目　電話二八九三番　振替口座京城三四〇六番

特別大興行
賜天覽　昨年十二月十三日伏見宮殿下御殿に於て
米國ナショナルドラマ會社　大戰劇　國難　七千呎
平和を夢み自由に醉へる米國民が一朝蹶然劍を取て起ち國を擧げて戰局に投じ聯合國を援助するに至れるは一昨年來主戰論者が口を極めて亡國の悲慘を語り迷夢の覺醒に努めたるが爲にして此間幾度か活動寫眞を利用して其主張を宣傳したり『第一戰禍』然り『國の光』然り今回の國難亦此大目的を以て生れ前者に比すれば更に痛切に更に深刻に防備なき國民の忌るべき慘禍を描出しカイゼルの兇暴を遺憾なく表顯し世に絕對の平和なく絕對の自由なき事を切延し國民の愛國心を鼓舞推奬したる光輝ある大精神を包有し世道人心に貢獻せんとする榮譽ある大寫眞なり
舊劇　太閤榮華物語　全四巻
其他　滑稽チャプリンの道具方　全貳巻
當五日より　大正館

徴兵保險株式會社
契約高金五千參拾萬四千五百圓　件數武拾九萬五千九百五拾六件　諸積立金壹千壹百七拾餘萬圓
總裁　男爵　小澤武雄
專務取締役　太田清藏
取締役　陸軍少將　伊豆凡夫
顧問　陸軍大將　男爵　鮫島重雄
同　陸軍中將　男爵　西島助義
本社ハ從來鮮滿兩地ヲ四國出張所ノ管區ニ附屬セシメアリシモ爾來被保險者非常ニ多數トナリ茲ニ鮮滿ヲ獨立管區トスルノ必要ヲ認メ今回京城出張所ヲ新設シ大ニ契約者ノ便宜ヲ謀リ諸事敏速ニ處理可致候
追テ京城龍山兩代理店ハ此際廢シ諸事務ハ京城出張所ニテ取扱可致候
◎有給社員數名採用　希望者ハ京城出張所ニ申込マレタシ（任地鮮滿支那各地）
東京市京橋區新肴町十九番地　徴兵保險株式會社
朝鮮京城府本町四丁目百三十二番地　京城出張所長　吉岡薫英
滿鮮外交主任　賛事　坂口祐一

妻の心 二十九

六の一 小林蹴月作 武内桂舟畫

『隨分だわよ、町川さんて方も。次の日曜日には、乾度來て一切を取極るからと被仰りときながら、その日曜日は一昨日と過ぎて了つて、今日になつてもまだお座敷さへ掛けて下さらないんだもの。妾本統にくさくさして了ふわ。』

夕暮の化粧鏡に對つて、鬢のふくらみを直しながらの若龍は、是も同じくお座敷の出前と見えて、化粧に餘念のない妹藝者の小龍に叱るともなく八ッ當りともなく呟くのであつた。

『本統ね、姐さん、お藥師さまへ行つて御圖でも見て貰つたら什うだ?』と、小龍は、少時お化粧の手を息める。

『それも然うね。だけども先方は駈出しの書生さんや、道樂息子さんとは譯が違つて、云はゞまあ二流どこは下らぬ大紳士の町川さんだわ。武士に二言は無いとまで被仰つたんだもの、お約束の日と二日や三日遲つたからと云つて、然う無たなく喚ぎ廻ると云ふのも變だしね。切めて電話か手紙でゞも、何とか云つて寄越しさいて下されば好い事にねえ。』

『必定お宅の方に差障つた御用がお有りなんでせうからまあ、氣を長くして待つてらッしやいよ。』

『ほ、ほ、ほ御親切さまに有がたう。一寸と小龍さん、お前さんの襟挾みが落ちさうよ。』

『なら濟みませんけど、姐さん、直して頂戴な。』

若龍は、楚々として立ち寄りながら、妹藝妓の襟挾みを直して遣つて居ると、途端に小婢が廊下から駈せ上つて來た。

『あの、若龍姐さん、深川亭さんからお座敷です。』

『おやッ、然う、深川亭さんから……?』

若龍は、若しやと思つたので、覺えず胸を動悸つかせた。小龍は、陸さず、

『さあ、姐さん、默つて頂戴!。大丈夫町川さんに違ひなくつてよ。』

『分るもんですかね。お座敷へ行つて見ない内は、何處のお客さまだか。』と、若龍は、口ではそれが町川であつて呉れかしと、祈るのは山々であつたが、併しながら、毎度ものお座敷の口とは、何處となく調子が異つたやうな氣が爲てならない。

『小龍さん、妾、什うしても今夜は心に冴々とした感じが湧かないの。お座敷は町川さんぢやないらしく思ふわ。』

『そんな事なくてよ、姐さん、妾乾度保證して上げてよ。』

『お前さんに保證して貰つたら、妾安心なものでせうよ。それでも萬々一、お前さんの察し通りだつたら、明日市村座を驕つて上げてよ。』

『おう、有がたい。萬一町川さんでなくても、然うぢやないなんて云ひッこなしね。』

『ほ、ほ、ほ、そんな吝つたれな若龍さんとは、若龍さんが違ひますからね。』

何の彼のとは云ふやうなものゝ、萬一約束の町川であつた日には、取返しの付かぬ失敗である。若龍は、こつかは出の着物と着換へて、燧火を背後に、箱丁に送られながら、深川亭へと急いだ。

座敷は、大川に面した奥の茶がかりの一室であつた。顧亭とと云ふでもないが、他の陽氣な廊下つゞきの小間居間とは違つて、至極物靜かな氣とした四疊半である。床の間には、軸物なしの菖蒲一輪、水際立つた美しさは、ゆかしくも品が好い。若龍は、女中の指して案めるが儘に、何心なく入口の襖を開いて、嫉妬のすなるやうに、優しく三つ指を支へながら、目八分に頭を下げたが、不圖顏を擡げて、彼方の隅に心持、面を反向けて居たる客人の姿に眼を止めると、思ひきや、それは町川代議士でもなく櫻井でもなかつた。曾て見覺のない姿貌細そりとした丸髷の一婦人が、故意に電燈の眩しさを避けつゝ、椅りわるさうに、惜然と身を片寄せて座つて居るのであつた。

皮膚科 外科 專門 京城太平通二丁目 扇田醫院 電話二三五八番

名刺 電話二七二番 京城 太平堂 振京二三六七番

日報歌壇

獨居偶成 東京 よし二
—京城のあづさ君に送る—

淋しくも吾てゆくなるひとり居の部屋に滲るあまきかなしみ

つかの間も忘れぬおもひ嘲るて降りし雨かやわびしらの雨

いたづらにさまざまのこと胸にするあさましき身に近き雨ふる

○ 高田 柳城

江も山も白く霞める月の下わが纜橋の快しく架かる

風たてば雲の碎けて月の下に流るゝ長汀遙か

小松山夜目にもしろき御影石の鳥居くゞれば月のたけたり

○ 齊藤 生光

若葉ぬちにほのほの明くる山々を眺めぬにつゝ心さやさし

移りゆくみどりの楢々や籠原さやかなりけり旅の朝明け

須磨所石青葉かくれの白濱に海はるばるとつゞきたる見ゆ

夏の歌 京城 岩田起代子

夏の夜もしらじら明けてゆくものを悲しめる子はまだ泣きやまず

寄せて語らひ給ふ君なれど裏切るゝわれの心知らずや

夕闇に目つぶりあれば思ふ事すべて淸かり夏は嬉しも

文藝界

▲林輔洞氏 朝鮮新聞社を辭し七月朝川要鄕里に歸り當分家事に從ふ由

▲阿部無佛翁 測句會 崔城鳥庭氏の主唱にて近日送別の句筵を開く由

▲石戸和茎氏(畫家) 既報の通り去る七日兩日銀行集會所に作品展覽會を開催す

□平壤より 靜軒

土砂降りの雨を聽きながら、未明此地に着し申候、當地迄豪古行の素月子と同車仕候。(二日)

土砂降の雨聽く窓や明易き

乙密臺にて

大江や夏雲四山彩れる

落日の江山我を涼しうす

銃子段にて

山鵑を陵に聞く日や五月晴

堂守はもの貰ひ居り五月雨

昨夜當地の有志歡迎句筵を開き與れ候(三日)

牡丹臺永明寺にて

寺門潜るや仰爪切りて居る夏の夕

乙島や乙密臺を高く低く

浮碧樓にて

泗水に妓歌聞く夏の夕べかな

□凉夜吟(其の八)

雲の峯

雲の峯崩れぬ芋の葉揺れぬ 迦南
洲と土堤へ續く軌道や雲の峯 笛木
空を牽く撒水馬車や雲の峯 春樹
草芝に梨門丹さや雲の峯 橙黄子

萍

萍や夕燒消ゆし池の面 迦南
萍の葉裏照る日や網の後 水子
晴れ間釣る萍に蜻蛉飛び落る 白風
萍に寄る魚散りぬ一ト嵐 橙黄子

日報俳壇

■北鮮聯合俳句會(鈔錄)

春の雲

鶴を見て悲しくなりぬ春の雲 二葉
河船の苦の温りや春の雲 雲山
池堀ると區切り縄や春の雲 味川

春の野

草の香に親みつゝ行く春野哉 翠雨
春の野の水に漂ふ夕日哉 羅象
百姓の痩馬牽ける春野哉 播龍
燕の腹反へす雨の春野哉 立郎
一ト日遊ぶ春野ヶ原の噴古哉 春雨
煤煙に曇る町遠く見て春野哉 鳥城

蛙

蛙鳴や樹の間の陽影静かに 倚山
蛙鳴の獨り寂しき裏戸かな 鬼日
面白や蛙聲揺るゝ丘の上 播龍
李氏の庭金氏の庭や牛仙蛙 素石

□草刀鈔

▲ 青瓦

祭後れ夜深けき竹の風にあり
洪水朝の市川吹く風や時鳥
溝泥に石灰撒きぬ青嵐
洪水虫の這ひ上る月の蚊帳風いて

▲ 瓜青

林檎摘ぎ遊る祭の残香に
寂しな夜々の溜か大根や時鳥
芋蔓永伐けてはしる家鴨見る
相國に縛りる風影蚊帳かな

新刊紹介(到著順)

△計學研究(一號) 商業帳簿の規定に就いて鹿野高商教授、銀行の計算組織の改良…

△佛詩雜誌(七月號) 二十五錢東京…

△新少女(少女雑誌) 十五錢東京雜司ヶ谷上り屋敷婦人之友社

△朝鮮鐵道青年(八の六) 朝鮮龍山鐵道…

△新世(二〇四) 十五錢東京芝福田村町六共社

△科學世界(一〇八) 二十五錢東京本郷湯島町四の八共社

△電氣化學(三の六) 三十錢東京…

△工業經濟(六月號) 三十錢東京々橋區有樂町一の三共社

△道樂世界(五週年記念政治經濟號) 十五錢京都上京松原通烏丸西入北町一八二日本道樂世界社

△名古屋商業會議所月報(一三四) 名古屋商業會議所發行

△紙之世界(一ノ六) 十錢東京本郷弓町一の二十共社

△隨鷗集(二六四) 三十錢東京浅草南仲之町一二隨鷗社

△中學講義録(第一號) 中學校へ入學する事を希ふ者の爲に僅少なる費用と時間にて一般學科を中學校程度の教育を授くべき目的にて發行されるものなり(月二回發行一箇年半卒業 會費一箇月六十錢) 京城…大日本國民中學會

△婦人界(子供號) 東京…婦人界社 …

牛乳 御用 朝鮮病院 京城東四軒町 岡野牧場 電話一〇六九番

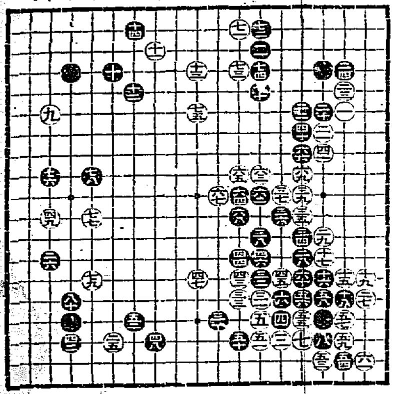
讀者の領分

(ホーガレスト)▲ … さんは…城では大關様…。 … 私は未だ京城に…。(北エスエ)

… もつとしまんとどしどしすつ… (新米生)▲ …

碁戰(四)

(大正七年六月二十三日京城日報主催於朝鮮棋會) 四段 喜多文子 四子 鈴木房之進



一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九

補血強壯の振り出し藥 人參煎 一日分 十錢 十日分 九十錢 卅日分 二圓七十錢 婦人病の妙藥 京城南大門通二丁目 朝鮮化學製藥株式會社 電話一三二六番

大阪株式(五日前場)

[illegible]

五日の九月限

朝鮮法制研究會

縮刷 朝鮮法規提要

▲ポケット形一千餘頁 ▲總クロース函入美本 ▲定價二圓二十錢 送料八錢 ▲特價一圓八十錢

(内容) 憲法、法例 官吏 賞恤、恩給 文書、附印鑑 地方行政 社寺、宗教 兵事 教育 衛生、警察 財務 土地、林野、河川 法務 產業 交通、電氣

賣捌所 京城太平通 京城日報社代理部 電話長六〇〇九番 構内十八番 振替京城三〇〇番

輸入創始明治四十四年

オキシパサー

本器は科學界の泰斗マイケル、フアラデー氏の發見せるダイヤマグネチズムの原理に基き大氣中の酸素を吸收し… 治療に利用し…

効力永久にして器械代以外に何等の費用を要せず使用簡便にして婦人子供にも危險なく… リウマチス神經痛…

腸病、肺病、心臓病、腎臓病、神經衰弱… 等に效力あり…

本器の生命は分極器にあり外觀の似たる模造品を買ふは鉛の贋造貨幣を掴むに等し切にパサーの名に御注意を乞ふ 東京丸の内 大日本オキシパサー商會謹告

定價金參拾九圓 特約店 酒本高明商店 京城本町二丁目七十一

最新流行 新荷到著

ムギワラ帽子 金五十五錢より金四圓迄
パナマ帽子 金一圓廿錢より金五圓廿錢迄
送料(鮮内十二錢 外三十錢)

▲鳥打帽子其他最新形澤山取揃へ居り候
◉御注文の際は柄向(縞とか無地など)色合御嗜好及價格頭廻り寸法御申越被下度候はゞ適當の品見計ひ御送付可申上候

京城大平通 京城日報代理部 電話六〇〇九番 振替京城三〇〇番

内科 胃腸病科 診察夜九時迄 京城 … 石川醫院 電話一二七九番

改築の爲め休業中の所漸く完成致候間本日より開業仕候に付何卒不相變御來店御引立の程願上候 明治町二丁目七十六番地 大正軒 軒主 小川 白

資本金六百萬圓 株式會社十八銀行京城支店 京城黄金町電話四〇五八〇番 振替貯金口座京城八一四番 同 龍山出張所 龍山元町二丁目電話一八番
弊行ハ各樞要ノ地ニ爲替取引店有之諸預金貸付其他送金荷爲替代金取立等銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候間多少ニ拘ラズ御取引願上候◉右ノ外株式會社長崎貯蓄銀行ノ代理事務取扱申候

淫羊藿エキス 通稱三枝九葉草エキス 最優良滋養強壯劑 主效 神經衰弱 貧血 …
定價 廿瓦入 金壹圓 卅瓦入 金壹圓五十錢 四十瓦入 金壹圓九十錢 五十瓦入 金貳圓三十錢 送料(鮮内 二錢 外 三十錢)
全國一手販賣 朝鮮京城府大平通一丁目 京城日報社代理部 電話長六〇〇九番ノ三 構内十八番 振替貯金口座京城三〇〇番 京城特約店 山岸天佑堂 京城特約店 北島支店

大日本優等淸酒 白鶴 品質純良 衛生無害

攝津灘御影町 醸造元 嘉納合名會社 京城本町二丁目廿番地 發賣元 前田酒店 電話一三七番 振替口座四三五番

資本金參百萬圓 明治三十六年設立 當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候 京城府南大門通壹丁目十四番地 株式會社 漢城銀行 長 男爵 李允用 專務取締役 韓相龍 支配人 石鎭衡 電話長六〇一番 支店 水原、平壤、大田、開城、南大門 出張所 釜山鍾路、東幕

最新刊 珠算精義 … 定價 …
縮刷 朝鮮法規提要 朝鮮法制研究會 定價二圓二十錢 特價一圓八十錢
株式會社會計 … 定價一圓五十錢
西洋通史 ボスチン メドレー著 … 定價 … 九五
實力養成法 … 定價七十錢 八五
▲西伯利亞號 … 定價二十五錢
大阪屋號 電話六〇四番 振替京城二五七三番
▲にせ物あり御注意▼ りん病 ばい毒 請合藥 京城南大門外停車場通 ドラック商會滿鮮本部 京城黄金町 ドラック商會支店
石碑 ◎感謝状金銀杯受領 ◎有名なる御影石特色は美術彫刻 明和元年創業 ◎建築石・石燈籠・神社佛閣石 ◎誠實に熱心の勉強 大平清
故阿部讓儀 葬儀は遠路御會葬… 親戚 阿部一越 同 路
日本郵船出帆 ◎大連、天津行 … 七月十九日 …
阿波共同汽船 共同丸 七月六日 七月七日 …

釜山出帆廣告 …
大阪商船出帆 …
尼崎汽船出帆 …
朝鮮郵船出帆 …